

静岡市障がい者共生のまちづくり計画掲載予定事業

(法定サービス等)

法律等により、実施が義務付けられているものや、障害福祉計画、障害児福祉計画への掲載を義務付けられているもの等の事業が該当します。  
支援体制の基礎となることから、掲載を手厚くすることを予定しています。  
(各事業1ページ)

静岡市障がい者共生のまちづくり計画掲載予定事業（法定サービス等）一覧表

大分野－小分野	事業名	所管課	資料 ページ
①－(1)	心のバリアフリーイベント	障害福祉企画課	6
①－(2)	アイボランティア入門講座・点字講習会	障害福祉企画課	7
①－(2)	手話奉仕員・要約筆記者養成研修事業	障害福祉企画課	8
①－(2)	初心者向け手話講習会	障害福祉企画課	9
①－(4)	成年後見制度利用支援事業	福祉総務課 障害福祉企画課 高齢者福祉課 精神保健福祉課	10
①－(4)	成年後見制度法人後見支援事業	福祉総務課 障害福祉企画課 精神保健福祉課	11
①－(4)	手話通訳者設置事業	障害福祉企画課 各区障害者支援課	12
①－(4)	手話通訳者・要約筆記者派遣事業	障害福祉企画課	13
①－(4)	専門性の高い意思疎通支援事業	障害福祉企画課	14
①－(5)	障害者虐待防止対策支援事業	障害福祉企画課 精神保健福祉課	15
②	地域生活支援拠点等の整備	障害福祉企画課	17
②	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築事業	精神保健福祉課	18
②	障害福祉サービス等に係る各種研修の活用による職員の人材育成	障害者支援推進課 障害福祉企画課 他	20
②	障害福祉サービス事業所等指導監査実施事業	障害者支援推進課	21
②－(1)	障害者相談支援事業	障害福祉企画課	22
②－(1)	発達障害者支援地域協議会の運営	障害福祉企画課	23
②－(1)	発達障害者支援センターの運営	障害福祉企画課	24
②－(1)	計画相談支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	25
②－(1)	障害児相談支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	26
②－(1)	施設入所支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	27
②－(1)	地域移行支援	障害者支援推進課	28
②－(2)	地域定着支援	障害者支援推進課	29
②－(2)	自立生活援助	障害者支援推進課	30
②－(3)	居宅介護	障害者支援推進課	31
②－(3)	重度訪問介護	障害者支援推進課	32

大分野—小分野	事業名	所管課	資料 ページ
② — (3)	生活介護	障害者支援推進課 障害福祉企画課	33
② — (3)	自立訓練（機能訓練）	障害者支援推進課 障害福祉企画課	34
② — (3)	自立訓練（生活訓練）	障害者支援推進課 障害福祉企画課	35
② — (3)	短期入所（福祉型）	障害者支援推進課 障害福祉企画課	36
② — (3)	短期入所（医療型）	障害者支援推進課 障害福祉企画課	37
② — (3)	訪問入浴サービス	障害福祉企画課	38
② — (3)	障害支援区分認定等事務	障害者支援推進課 各区障害者支援課	39
② — (4)	日常生活用具費助成事業	障害者支援推進課	40
② — (5)	発達障害者家族支援体制整備事業	障害福祉企画課	41
② — (5)	重症心身障がい児（者）を支援する人材の確保・養成	障害福祉企画課	42
② — (5)	強度行動障がい者支援施設サポート事業	障害福祉企画課	43
② — (3)	新 視覚障がい者の理解促進に関する普及啓発、相談・支援事業	地域リハビリテーション 推進センター 障害福祉企画課	44
③ — (1)	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業	障害福祉企画課	46
③ — (1)	療養介護	障害者支援推進課	47
④ — (1)	共同生活援助	障害者支援推進課 障害福祉企画課	49
④ — (1)	共同生活援助（日中サービス支援型）	障害者支援推進課 障害福祉企画課	50
④ — (1)	福祉ホーム運営補助	障害福祉企画課	51
④ — (2)	同行援護	障害者支援推進課	52
④ — (2)	行動援護	障害者支援推進課	53
④ — (2)	移動支援事業	障害者支援推進課 障害福祉企画課	54
④ — (2)	自動車運転免許取得費補助事業及び自動車改造費補助事業	障害者支援推進課	55
⑤ — (3)	地域生活支援拠点等の整備（再掲）	障害福祉企画課	57
⑤ — (3)	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築事業（再掲）	障害者支援推進課	57
⑤ — (3)	障害者相談支援事業（再掲）	障害者支援推進課	57
⑤ — (3)	成年後見制度利用支援事業（再掲）	障害者支援推進課	57
⑤ — (3)	成年後見制度法人後見支援事業（再掲）	障害者支援推進課	57
⑤ — (3)	地域定着支援（再掲）	児童相談所 障害者支援推進課	57

大分野—小分野	事業名	所管課	資料 ページ
⑤ — (3)	自立訓練（生活訓練）（再掲）	児童相談所 障害者支援推進課	57
⑥ — (1)	児童発達支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	59
⑥ — (1)	医療型児童発達支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	60
⑥ — (1)	放課後等デイサービス	障害者支援推進課 障害福祉企画課	61
⑥ — (1)	保育所等訪問支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	62
⑥ — (1)	居宅訪問型児童発達支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	63
⑥ — (1)	福祉型障害児入所支援	児童相談所 障害者支援推進課	64
⑥ — (1)	医療型障害児入所支援	児童相談所 障害者支援推進課	65
⑥ — (2)	医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整する コーディネーターの配置	障害福祉企画課 障害者支援推進課	66
⑥ — (2)	医療的ケア児支援協議会	障害福祉企画課	67
⑦ — (1)	就労移行支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	69
⑦ — (1)	就労定着支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課	70
⑦ — (2)	就労継続支援A型	障害者支援推進課 障害福祉企画課	71
⑦ — (2)	就労継続支援B型	障害者支援推進課 障害福祉企画課	72
⑦ — (2)	盲人ホーム運営補助	障害福祉企画課	73
⑧ — (1)	スポーツ教室開催事業	障害福祉企画課	75
⑧ — (1)	スポーツ大会開催事業	障害福祉企画課 葵区障害者支援課 駿河区障害者支援課	76
⑧ — (1)	障害者スポーツフェスティバル事業	障害福祉企画課 清水区障害者支援課	77
⑧ — (1)	精神障害者スポーツ交流強化事業	精神保健福祉課	78
⑧ — (1)	日中一時支援事業	障害者支援推進課	79
⑧ — (2)	地域活動支援センター	障害福祉企画課	80
⑧ — (2)	点字・声の広報等の発行	障害福祉企画課	81

大分野1：権利擁護・理解促進  
～認め合う・守る～

事業名称	担当課
心のバリアフリーイベント	障害福祉企画課

事業概要	全ての人がお互いの心や身体の個性を大切にコミュニケーションを取り、支え合う共生社会の実現を目指し、心の「バリア」を取り除くためのイベント等を行います。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
心のバリアフリーイベントの実施 (市が独自に設定)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	実施	実施	実施
イベント参加者アンケートの共生社会への理解が深まった人の割合 (市が独自に設定)	-	80%	80%	80%
障害者週間における啓発活動の実施箇所数 (市が独自に設定)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所

【現状の分析及び課題】

- イベント来場者のアンケート結果では「障がいへの理解が深まった」と回答した人の割合が高く（H29：82%、H30：71.5%）、障がい理解の促進のための効果がありましたが、今後は、更に一歩踏み込み、「共生社会」について理解してもらう必要があります。
- 心のバリアフリーイベントは、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となっており、「新しい生活様式」のもとで、障がいのある人と障がいのない人が交流することのできるイベントを企画する必要があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 「新しい生活様式」を踏まえるだけでなく、これまで来場することが難しかった方も参加することができる心のバリアフリーイベントを企画し、実施します。
- 障害者週間における啓発活動において、共生社会への理解を進めるため、SDGsアイコンを取り入れます。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 基本目標 (1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること
- SDGs 関連ゴール 10. 人や国の不平等をなくそう
- SDGs 関連ターゲット 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包摂を促進する。

じぎょうめいししょう 事業名称	たんとうか 担当課
アイボランティア入門講座・点字講習会	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	視覚障がいのある人を助けるボランティアを増やすため、アイボランティア入門講座（視覚障がいへの理解、音訳、ガイドヘルプなど）と、点字講習会（点字の学習）を開催します。
------------------	--

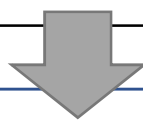
かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期		もくひょうち 目標値
	れいわがんねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
アイボランティア 入門講座開催回数 (市が独自に設定)	1回	1回	1回	1回
点字講習会開催回数 (市が独自に設定)	2会場 各1回	2会場 各1回	2会場 各1回	2会場 各1回

【現状の分析及び課題】

- 受講者数の伸び悩みが課題となっており、増加に向けた取り組みが必要です。
- 各講座において、8割以上の出席率を目指します。
- 受講者が、講座終了後に支援団体の活動への参加に繋がるような取組が必要です。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 積極的な広報により、事業の周知を行います。
- 出席しやすい会場や、日程など実施内容の見直しを行います。
- 関連する支援団体の活動の周知と、修了生による持続的な視覚障がいのある方への支援の啓発を行います。



関連する成果指標 ・ 基本目標 ・ SDGs 関連ゴール	・ 特に関連する基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること 3. すべての人に健康と福祉を
------------------------------------	--

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
しゅわ ほうしん 手話奉仕員・要約筆記者養成研修事業	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	ちょうかくしやう 聴覚障がいのある人ととの交流活動やコミュニケーションを促進する手話奉仕員・要約筆記者を養成するための講座を開催します。
------------------	---

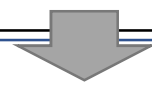
かつどうしひよう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期			もくひようち 目標値
	れいわがんねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	
しゅわ ほうしん せいせい こうざ 手話奉仕員養成講座 かいさい かいすう し じかく せつてい 開催回数（市が独自に設定）	2会場	2会場	2会場	2会場	2会場
ようやく ひつき しゃ ようせい こうざ 要約筆記者養成講座 かいさい かいすう し じかく せつてい 開催回数（市が独自に設定）	1会場	1会場	1会場	1会場	1会場
しゅわ ほうしん せいせい こうざ 手話奉仕員養成講座 じゅこうしゃ すう し じかく せつてい 受講者数（市が独自に設定）	52人	60人	60人	60人	60人
ようやくひつきしゃ ようせい こうざ 要約筆記者養成講座 じゅこうしゃ すう し じかく せつてい 受講者数（市が独自に設定）	4人	10人	10人	10人	10人

げんじよう ふんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- ・ボランティアを養成し、障がいを理解する人の裾野を広げる事業であるが、受講者を確保することが難しく、受講者数が前計画目標値を下回っています。
- ・手話奉仕員養成講座について、平成26年度から平成29年度まで、定員を80名で行ったところ、受講者への目が行き届かず、修了者が減ってしまったため、令和元年度に定員を60名に変更しました。その結果、受講者数は減少したものの、修了率は前年度を上回りました。（H31：87%/H30：67%）。
- ・要約筆記者養成講座は、県でも同様の事業を実施していることから、受講生確保や効率の面で実施方法の改善が必要です。

もくひよう たっせい  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- ・ホームページ、広報紙などで奉仕員の活動をPRし、講座への参加を呼びかけていきます。
- ・要約筆記者養成講座の広報掲載時期を早めるとともに、受講生募集期間を延ばします。
- ・県と実施方法や開催場所について協議を行っていきます。



かんれん せいし じひよう  
関連する成果指標

- ・基本目標①
- ・基本目標②
- ・SDGs 関連ゴール①
- ・SDGs 関連ゴール②

とく かんれん 基本目標  
（1）障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること

（2）社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること

3. すべての人に健康と福祉を

10. 人や国の不平等をなくそう



事業名称	担当課
初心者向け手話講習会	障害福祉企画課

事業概要	市民を対象とした初心者向け手話講習会を開催し、障がいのある人への理解を促し進めます。
------	--

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
講座開催回数 (市が独自に設定)	1回	1回	1回	1回

【現状の分析及び課題】

- 平成30年度より、市民向け講習会を、全4回開催しており定員は40名です。内容は小学4～6年生を対象とした手話教室ですが、周知不足などにより参加者が定員に達していないことが課題です。
- 新型コロナウイルス感染症予防対策を意識した運営が必要になっています。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 過去3年の受講者および講師のアンケート結果をもとに、開催場所や回数、対象者について関係団体と協議をしながら、受講者数の増加に努めます。
- 新型コロナウイルス禍における「新しい生活様式」を意識した運営を行います。



<p>関連する成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標①</li> <li>基本目標②</li> <li>基本目標③</li> </ul> <p>・SDGs 関連ゴール</p>	<p>特に関連する基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること</li> <li>(2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること</li> <li>(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</li> </ul> <p>3. すべての人に健康と福祉を</p>
--	---

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
せいねん こうけん せいど りやう しえん じぎょう 成年後見制度利用支援事業	ふくし そつわか しょうがいふくし まかく か 福祉総務課・障害福祉企画課 こうれいしや ふくし か せいしん ほけん ふくし か 高齢者福祉課・精神保健福祉課

じぎょうがいよう 事業概要	ちできしょう 知的障がい、せいしんしょう 精神障がい、にんちしょう どう 認知症等により、お金の管理や日常生活を行うことが難しい人が、支援者がいないことなどが理由で成年後見制度の利用ができない場合に、市長申立てを適切に行い、制度の利用につなげます。また、利用にながった後に、利用者に資産がない場合は、制度を利用するために必要な成年後見人への報酬の助成を行い、継続して利用できるよう支援します。
------------------	--

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひやうち 第6期 目標値		
	れいわがんねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しやう もうしたけんすう にんち 市長申立件数（認知） （市が独自に設定）	40件	検討中	検討中	検討中
しやう もうしたけんすう ちでき 市長申立件数（知的） （市が独自に設定）	2件	検討中	検討中	検討中
しやう もうしたけんすう せいしん 市長申立件数（精神） （市が独自に設定）	6件	検討中	検討中	検討中
ほうしゆきよせい じっし 報酬助成の実施 （市が独自に設定）	たいしやうしやくくだい 対象者拡大	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- 成年後見制度を必要とする市民について適切に市長申立てを実施し、制度の利用につなげることができています。
- 報酬助成については、令和元年度から助成の対象を拡大し、市長申立てに限らず資産のない制度利用者の成年後見人の報酬について助成を行っています。対象拡大により、事業費の増大が見込まれます。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちやう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 今後も、研修等により職員の資質向上に努め、適切に市長申立てや報酬の助成を実施していきます。

かんれん せいしん せいしん  
関連する成果指標

- 基本目標①
- 基本目標②

（1）障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること

（2）社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること

- SDGs 関連ゴール①
- SDGs 関連ゴール②
- SDGs 関連ターゲット

3. すべての人に健康と福祉を

10. 人や国の不平等をなくそう

10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

事業名称	担当課
成年後見制度法人後見支援事業	福祉総務課・障害福祉企画課 精神保健福祉課

事業概要	市民後見人候補者に法人後見支援員としての活用を提供することで、法人後見の活動を支援し、障がいのある人の権利擁護を図る。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市民後見人養成研修の実施 (市が独自に設定)	第1期市民後見人養成研修(実務編)の実施	第2期市民後見人養成研修(実務編)の実施 ・法人後見支援員としての活動の場の提供	第3期市民後見人養成研修の実施は市民後見人候補者数等実績をもとに検討	・法人後見支援員としての活動の場の提供
家庭裁判所から市民後見人として選任された延べ人数 (市が独自に設定)	0人	3人	6人	8人

【現状の分析及び課題】

・前計画期間では、第1期市民後見人養成研修を実施し、13名の市民後見人候補者を市の名簿に登録しました。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- ・第2期市民後見人養成研修を実施します。
- ・市民後見人候補者に対し、市社会福祉協議会における法人後見支援員としての活動の場を提供します。

<p>関連する成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標①</li> <li>・基本目標②</li> <li>・SDGs 関連ゴール①</li> <li>・SDGs 関連ゴール②</li> <li>・SDGs 関連ターゲット</li> </ul>	<p>特に関連する基本目標</p> <p>(1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重することを支援すること</p> <p>3. すべての人に健康と福祉を</p> <p>10. 人や国の不平等をなくそう</p> <p>10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包摂を促進する。</p>
---	--

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
しゅわ つうやく しや せっち じぎょう 手話通訳者設置事業	しょうがふくし きかく か 障害福祉企画課 かくく しょうがいしやえん か 各区障害者支援課

じぎょうがいう 事業概要	せんしんしゅわつうやくしや しちやうしや はいち しやくしよ おとづ ちやうかく おんせいげんごきのう しょうがい 専任手話通訳者を市庁舎に配置し、市役所に訪れた聴覚、音声言語機能に障がいのある人がスムーズにコミュニケーションができるようにします。
-----------------	---

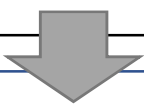
かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわがねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
せっちしやすう 設置者数 (市が独自に設定)	にん 4人	にん 4人	にん 4人	にん 4人

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

• 聴覚に障がいのある人への支援体制の充実のため、平成27年度から継続して各区役所と静岡庁舎に専任手話通訳者を配置することができています。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちやう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

• 引き続き各区役所と静岡庁舎（障害福祉企画課）への配置を継続します。  
• 手話通訳者の活動環境の向上や事業実施において関係機関と情報共有を継続していきます。



かんれん せいさく しひやう  
関連する成果指標

- 基本目標① (1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること
- 基本目標② (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
- 基本目標③ (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

• SDGs かんれん ゴール 3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
しゅわ つうやく しゃ ようやく ひつき しゃ はけん じぎょう 手話通訳者・要約筆記者派遣事業	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	ちやうかく おんせいげんごしやう 聴覚、音声言語障がいのためにコミュニケーションをとることに支障がある人が、スムーズにコミュニケーションを取ることができるように、手話通訳者や要約筆記者を派遣し、会議や説明会等の内容がわかるようにしたり、通院するときや買い物をするときなど、日常生活を支援したりします。
------------------	---

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわがんねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しんせい たい はけん わりあい 申請に対する派遣の割合 (市が独自に設定)	100%	100%	100%	100%

げんじやう ぶんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>登録手話通訳者・登録要約筆記者の派遣申請があったもの全てに対して派遣することができており、聴覚障がいのある人の社会参加の促進につながっています。</li> <li>平成28年4月の「障害者差別解消法」施行依頼、会議や説明会等における手話通訳者の配置についての認識は広がりつつありますが、今後は利用者への派遣にあわせ、同法の「合理的配慮」について一層の周知を図る必要があります。</li> </ul>
--

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き派遣依頼があったもの全てに派遣をしていく。</li> <li>毎年12月に実施している「障害者週間」の広報・啓発活動などの機会を活用し、「障害者差別解消法」における「合理的配慮」の考え方を引き続き周知していきます。</li> <li>手話通訳者の活動環境の向上や事業実施において関係機関と情報共有を継続していきます。</li> </ul>
---



かんれん せいか しひやう 関連する成果指標	とく かんれん 基本目標 特に関連する基本目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標① (1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること</li> <li>基本目標② (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ(アクセシビリティ)を向上させ、社会参加を支援すること</li> <li>基本目標③ (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. すべての人に健康と福祉を</li> </ul>
SDGs かんれん 関連ゴール	

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
せんもんせい たか いし そつう しえん じぎょう 専門性の高い意思疎通支援事業	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	せんもんせい たか ぎじゆつ ひつよう しやわ つうやくしや ようせい もう しょう しょう しょうやくけんかいじよしや 専門性の高い技術を必要とする手話通訳者の養成、盲ろう者向け通訳兼介助者の養成、盲ろう者向け通訳兼介助者の派遣、失語症者向けの意思疎通支援者の養成を実施します。
---------------	---

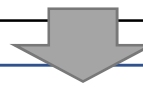
かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ ねんど 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しやわつうやくしやようせい けんしゅうじぎょう 手話通訳者養成・研修事業	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施
もう しょう しょうやくけんかいじよしや 盲ろう者向け通訳兼介助者養成・研修事業	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施
もう しょう しょうやくけんかいじよしや 盲ろう者向け通訳兼介助者派遣事業	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施
しつごしやうしや お いしそつうしえんしや 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施	じっし 実施

げんじやう ぶんせき およ かなだい  
【現状の分析及び課題】

・手話通訳者養成・研修事業、盲ろう者向け通訳兼介助者養成・研修事業、盲ろう者向け通訳兼介助者派遣事業、失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業について、静岡県、浜松市と三者で前計画の目標のとおり共同実施することが出来ています。

もくひやう たっせい けいかく じっし まかちゆう とりぐみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

・今後も、障がいのある人のニーズへの対応が可能となるように、静岡県、浜松市と三者で情報共有しながら実施していきます。



かんれん せいし しひやう 関連する成果指標	とく かんれん きほん もくひやう 特に関連する基本目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標①</li> <li>基本目標②</li> <li>基本目標②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること</li> <li>(2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること</li> <li>(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</li> </ul>
・SDGs 関連ゴール	3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
しょうがいしやぎやくたいぼうしだいさくしえんじぎやう 障害者虐待防止対策支援事業	しょうがいふくしまかか 障害福祉企画課 せいしんほけんふくしか 精神保健福祉課

じぎょうがいやう 事業概要	しょうがいのあるひとへのぎやくたいみぜんを未然に防いだり、そうきほつけん 早期に発見したり、じんそくたいおうし 迅速に対応し、その後の適切な支援に繋いだりするために、地域の関係機関や、地域住民の方等の支援体制を強化したり、きょうりよくたいせい 協力する体制を整備します。
---------------	---

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわがねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
ぎやくたいぼうし 虐待防止センター数 (市が独自に設定)	11 箇所	11 箇所	11 箇所	11 箇所
ぎやくたいちじ 虐待一時保護協定施設数 (市が独自に設定)	5 箇所	5 箇所	5 箇所	5 箇所
ほうせいどしゅうち 法制度周知のための研修等 の開催回数 (市が独自に設定)	0回 ※新型コロナウイルス感染症のため中止。H30は2回開催	2回	2回	2回

げんじやう ぶんせき およ かいだい 【現状の分析及び課題】

- ぎやくたいぼうし 虐待防止センター、ぎやくたいちじ 虐待一時保護協定施設の適正な運営の継続が必要です。
- じんそく 迅速・適切な対応を行うために、ぎやくたいぼうし 虐待防止マニュアルの改訂が必要です。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちゆう とりくみ 【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- ぎやくたい 通報があった際に、じんそく 迅速な対応がとれるよう、ぎやくたいぼうし 虐待防止センター、ぎやくたいちじ 虐待一時保護協定施設、その他関係機関等の連携体制を強化していくために、「じりつしえん 自立支援協議会 ぎやくたいぼうし 虐待防止部会」にて支援体制について検討を行います。



かんれん せいし じひやう 関連する成果指標

- SDGs 関連ゴール①
- SDGs 関連ゴール②
- SDGs 関連ターゲット

とく かんれん 基本目標

(1) しょうがいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること

3. すべての人に健康と福祉を

16. 平和と公正をすべての人に

16.1 あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。

大分野2：地域生活支援  
～支え合う～



じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
ちいき せいかつ しえん きよてんとう せいび 地域生活支援拠点等の整備	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいやう 事業概要	しょうがいのあるひとが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、様々な支援を切れ目なく提供するため、5つの機能（「相談」、「緊急時の受入・対応」、「体験の機会」、「専門性」、「地域の体制作り」）を持つネットワークを構築します。
------------------	---

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひやうち 第6期 目標値		
	れいわがねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
せっち 設置	せっち 設置	せっち 設置	せっち 設置	せっち 設置
いこう うんやう じやうきやう 移行・運用状況の けんしやう けんとう かいすう ねん 検証・検討回数/年	かい 2回	かい 2回	かい 2回	かい 2回
こーていねーたー へいぢやう じんずう コーディネーター配置人数 (市が独自に設定)	にん 2人	にん 2人	にん 2人	にん 2人

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- しょうがいのあるひとが地域で暮らすため、つうしよ たんき にやうしよ ヘルパー事業等在宅サービスの人材養成や事業所間の連携を進める必要があります。
- かくかんけい しかん において、こーていねーたーの役割の認識や拠点の面的整備における当事者意識が十分でないという課題があります。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちやう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 「専門的」機能として、きやうどうしょうがい じしや いりやうてき ケア児などに対する専門的な支援を行うことのできる人材育成を強化していきます。
- たんき にやうしよ うけいれ おこな じぎやうしよ において、きんきゆううけいれ こう じれい きやうゆう たいけん りやう そくしん きんきゆううけいれ に対応できる事業所数を増加させていきます。
- かくかんけい しかん へちいき せいかつ しえん ネットワークとこーていねーたーに関する周知、きやうりやくいらい おこな 協力依頼を行います。

かんれん せいしか しひやう とく かんれん きほん ちくひやう  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- せいしか しひやう  
成果指標
- せいしか しひやう  
成果指標
- きほん ちくひやう  
基本目標

- 3-(1) 拠点の整備箇所数
- 3-(2) 移行運用状況の検証・検討
- (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

かんれん かんれん  
・ SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいししょう 事業名称	たんとうか 担当課
せいしん しょう たいおう ちいき ほうかつ こうちく じぎょう 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築事業	せいしん ほんふくし か 精神保健福祉課

じぎょうがいよう 事業概要	せいしん しょう ひと ちいき いちいん せいしん じぶん く 精神障がいのある人が、地域の一人として安心して自分らしい暮らしを ことができるよう、保健、医療及び福祉関係者等による包括的な支援体制の 構築を図ります。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひょうち 第6期 目標値			
	れいわがんねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	
ほけん いりょう およ ふくし かんけいしゃ によ る協議の場の設置	せっち ず 設置済み	せっち ず 設置済み	せっち ず 設置済み	せっち ず 設置済み	
ほけん いりょう およ ふくし かんけいしゃ によ る協議の場の開催回数	2回	2回	2回	2回	
ほけん いりょう およ ふくし かん 及び福祉関 係者による 協議の場へ の関係者の 参加者数	ほけん 保健	0人	0人	0人	0人
	いりょう せいしんか 医療(精神科)	4人	4人	4人	4人
	いりょう せいしんか以外 医療(精神科以外)	0人	0人	0人	1人
	ふくし 福祉	5人	5人	5人	5人
	かいご 介護	1人	1人	1人	1人
	とうじしや 当事者	1人	1人	1人	1人
	かぞく 家族	1人	1人	1人	1人
	た ないよう ほうりゆえ その他(内容: 法律家)	1人	1人	1人	1人
た ないよう ぎょうきかん その他(内容: 行政機関)	2人	2人	2人	2人	
ほけん いりょう およ ふくし かんけいしゃ によ る協議の場における目標設定及 び評価の実施回数	2回	2回	2回	2回	

げんじょう ぶんせき およ かない  
【現状の分析及び課題】

にゅういんご たいいん りつ たか ずいじゆん ずいじゆん ちようき にゅういん かんじや ちいき いこう ちいき ていぢやく ずいしん  
・入院後の退院率については高い水準で推移していますが、長期入院患者の地域移行・地域定着を推進して  
いくため、必要な体制整備について引き続き関係機関との協議が必要です。

もくひょう たっせい けいかく じっし きかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

ちいき いこう ずいしん かなか かない しほほう かんみん きやうどう きやうぎ おこな いりょう ふくし ぎやうせい れんけい ちいき いこう しえん  
・地域移行の推進に係る課題や手法など官民協働で協議を行い、医療と福祉、行政が連携した地域移行支援  
体制の構築に取り組んでいきます。

かんれん せいかにしひょう とうく かんれん きほん もくひょう  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標



• 成果指標

2-(1) 退院後1年以内の地域における平均生活日数

2-(2) 入院後3か月以内に退院できる人の割合

2-(3) 入院後6か月以内に退院できる人の割合

2-(4) 入院後1年以内に退院できる人の割合

2-(5) 精神科病床における1年以上長期入院者数

• 基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

• SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

• SDGs 関連ターゲット

3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

事業名称	担当課
障害福祉サービス等に係る各種研修の活用による職員の人材育成	障害者支援推進課 障害福祉企画課 他

事業概要	静岡県が実施する研修に、市職員が参加することで、専門知識を持つ市職員を増やしていきます。
------	--

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談支援従事者初任者研修の市職員参加人数	0人	1人	1人	1人
障害支援に区分認定調査員研修の市職員参加人数	8人	8人	8人	8人

【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>障害支援に区分認定調査員研修には、毎年市職員が参加していますが、相談支援従事者初任者研修には、現在市職員からの参加者はいません。</li> <li>いろいろな分野にまたがる関連事業について、職員の知識が縦割りの的になってしまうことが課題です。</li> </ul>
---

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>障害支援に区分認定調査員研修に加え、相談支援従事者初任者研修についても、市職員の参加を行います。</li> </ul>
--



<p>関連する成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に関連する基本目標</li> <li>7 サービスの質の向上を図るための取組に係る体制を構築</li> <li>(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</li> <li>3. すべての人に健康と福祉を</li> </ul> <p>・SDGs 関連ゴール</p>
--

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとくか 担当課
しょうがいふくし じぎょうしょ どうしどう かんさ じっし じぎょう 障害福祉サービス事業所等指導監査実施事業	しょうがいふくし しょうせん さいしん かい 障害者支援推進課

じぎょうがいよう 事業概要	してい しょうがいふくし じぎょうしょ どうしどう できせつ うんえい じつげん ほか しょう かんさ おこな けつ 指定障害福祉サービス事業所等の適切な運営の実現を図るため、指導監査を行い、その結果について、静岡県や浜松市と共有するための連絡会を開催します。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひょうち 第6期 目標値		
	れいわがねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
けん せいれいし 県・2政令市による じょうほうようゆうじっし かいすう ねん 情報共有実施回数/年	かい 0回	かい 1回	かい 1回	かい 1回

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- 静岡県、浜松市、静岡市の3者により、年に2回、連絡会を開催しています。
- 事業者の指定と指導について、課題や解決策などの情報交換を行っています。
- それぞれの指導監査結果の状況については、共有できていないことが課題です。

もくひょう たっせい けいかく じっし きんかちゆう おりくり  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- これまで行ってきた情報交換に加え、それぞれの指導監査結果についても情報共有を行うために、必要な連絡・調整を行っています。



かんれん せいりゃく せいりゃく 関連する成果指標	とく かんれん きほん もくひょう 特に関連する基本目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 成果指標</li> <li>• 基本目標</li> </ul>	<p>7 サービスの質の向上を図るための取組に係る体制を構築</p> <p>(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</p> <p>3. すべての人に健康と福祉を</p>
• SDGs 関連ゴール	

事業名称	担当課
障害者相談支援事業	障害福祉企画課

事業概要	<p>障がいのある人が、障がいの種類に関わらず、持っている能力や適性にあわせて、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、障がいのある人やその関係者からの相談に応じて必要な情報を提供したり、助言をしたりして支援を行います。また、関係機関との連絡調整や、地域連携システム（ネットワーク）を構築するための会議を開催します。</p>
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託相談支援事業所 設置箇所数	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所
基幹相談支援センター 設置箇所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数	159件	160件	184件	208件
地域の相談支援事業者の人材育成のために行う支援件数	37件	36件	39件	42件
地域の相談支援機関との連携強化の取組実施回数	57件	65件	76件	89件

【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>解決が難しい事例についての相談が年々増加している上に、緊急時の対応や深夜、早朝など時間に関係なく支援を行うことも必要となっており、業務量と報酬が見合っていないことと人員不足が顕著になっています。</li> <li>8050問題に係る相談、家庭での生活が困難であるが入所施設等の福祉サービスの対応も困難な相談、触法障がい者を中心に金銭的なトラブルに関する相談が増加しています。</li> </ul>
---

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の相談支援業務内容を精査し、真に必要な部分に重点的に取り組んでもらうための検討を行います。</li> <li>各委託相談支援事業所の配置や業務内容の見直しについて検討します。</li> <li>地域包括支援センターと連携し、8050問題に協働で取り組むための体制整備を行います。</li> </ul>
---

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- ・ 成果指標
  - ・ 基本目標
  - ・ SDGs 関連ゴール
- 6 相談支援体制の充実・強化等に向けた取組の実施体制を確保  
(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること  
3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
はったつ しょうがいしゃしえん ちいき きやうぎかい うんえい 発達障害者支援地域協議会の運営	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	はったつしょうがいのある障がい児者へのライフステージに応じた一貫した支援体制を整備するため、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係者が連携の緊密化を図り、体制の整備について協議を行う。また、発達障害者支援センターの活動状況について検証を行う。
------------------	--

かつどうしひよう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひやうち 第6期 目標値		
	れいわがねんどじっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
かいさい かいすう 開催回数	1 かい	1 かい	1 かい	1 かい

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

しずおかしはったつしょうがいしゃしえん かつどう じやうきやう げんじやう  
静岡市発達障害者支援センターの活動状況が検証されることにより支援体制がブラッシュアップされている。令和2年度は「すくすくファイル」と「サポートファイル」の改訂を軸に教育と福祉の連携について協議された。今後も幼児期から成人期までの切れ目のない支援体制について協議を重ねていく。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちやう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

しずおかしはったつしょうがいしゃしえん かつどうじやうきやう  
静岡市発達障害者支援センターの活動状況について、「静岡市発達障害者支援地域協議会」が検証する。特別支援連携協議会と連携し、教育と福祉の連携について検討する。

- かんれん せいさく しひやう • とく かんれん きほん もくひやう  
関連する成果指標 • 特に関連する基本目標
- 成果指標
  - 基本目標
  - SDGs 関連ゴール

- 6相談支援体制の充実・強化等に向けた取組の実施体制を確保  
(1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること  
3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
はったつ しょうがいしやしえん うんえい 発達障害者支援センターの運営	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	はったつ しょうがいしやしえん しょうがいのある障がい児者やその家族からの相談にに応じて、指導や助言を行ったり、関係機関と連携して支援を行ったりする「発達障害者支援センター」を運営します。また、発達障がいへの理解促進や関係機関へのコンサルテーション（助言）を行うことで、地域の支援力の向上や緊密な連携による支援体制の構築を目指します。
------------------	---

かつどうしひよう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひようち 第6期 目標値		
	れいわがねんどじつせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
そうだん けんすう 相談件数（延べ）	2,932件	2,764件	2,684件	2,606件
かんけい 機関 関係機関コンサルテーション (助言) 件数	173件	184件	197件	210件
しみん およ がいぶ きかん 市民及び外部機関 向け講座開催	164回	205回	213回	221回
ペアレントトレーニングや ペアレントプログラム等の 受講者数【新】	321人	321人	321人	321人
ペアレントメンターの人数 【新】	79人	85人	88人	91人
ピアサポートの活動への 参加人数【新】	15人	15人	15人	15人

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- 相談業務の対象が個人から支援者になってきており、支援者の養成によりセンターの相談に結び付く前に課題が解消されることが増えています。
- 問題が複雑化している相談が増え、1件あたりの電話対応に係る時間が長くなっています。

もくひよう たつせい けいかく じつし きかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 発達障がいのある人に対する総合的な支援を行う拠点として、子どもから成人までライフステージにあわせて、関係機関との連携を強化していきます。

かんれん せいさく しひよう • 特にかんれんする基本目標

• 基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

• SDGs かんれん  
関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を



じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
けいかく そうだん しえん 計画相談支援	しょうがいしゃ しえん せいしん か 障害者支援推進課 しょうがいふくし まかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいう 事業概要	しょうがいふくし サービスやちいき 相談支援を利用する全てのしょうがいのあるひと たいしょう、サービスを利用するときに必要な「サービス等利用計画」を策定したり、サービス等の利用状況を検証したり、けいかく みなお、計画の見直しや、サービス事業所等との連絡や調整を行います。
-----------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃ すう 利用者数	4,265人	4,525人	4,661人	4,801人
そうだん しえん せんもんいん すう 相談支援専門員数 (市が独自に設定)	71人	117人	120人	124人

げんじょう ぶんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

しょうがい ふくし サービスを利用する人が増え、支給決定者数が増加していることから、計画相談の利用者数は大幅に増加傾向にあります。それに伴い、相談支援専門員の人材確保が課題となっています。

もくひょう たっせい  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

しょうがいしゃ じりつ しえん きょうぎかいの相談支援部会を中心に、たいおう さく 対応策についてきょうぎします。  
 そうだん しえん じぎょう しょ しんき かいせつ きぼうする事業者等の相談に積極的に応じるなど、新規開設に向けたたいおう けいぞくしていきます。

かんれん せいりょう せいりょう  
関連する成果指標

- 成果指標
- 基本目標

かんれん かんれん  
• SDGs 関連ゴール

とく かんれん かんれん  
特に関連する基本目標

- 6 相談支援体制の充実・強化等に向けた取組の実施体制を確保
- (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- 3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
しょうがい じ そうだん しえん 障害児相談支援	しょうがいしゃ じえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがいふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいはう 事業概要	サービスを利用する児童の心と身体の状況や、その他の事情を踏まえて、利用する障害児通所支援の種類や内容等を記載した「障害児支援利用計画」の作成や、サービス事業所等との連絡調整を行います。また、モニタリング期間ごとに「障害児支援利用計画」の評価を行います。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	1,756人	2,613人	3,188人	3,889人
そうだん しえん せんもんいん すう 相談支援専門員数 (市が独自に設定)	52人	67人	82人	100人

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

・障害児通所サービスや障害福祉サービスを利用する人が増え、支給決定者数が増加していることから、計画相談の利用者数は大幅に増加傾向にあります。それに伴い、相談支援専門員の人材確保が課題となっています。

もくひょう たっせい けいかく じっし きんちゆう とりぐみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

・障害者自立支援協議会の相談支援部会を中心に、対応策について協議します。  
・相談支援事業所の新規開設を希望する事業者等の相談に積極的に応じるなど、新規開設に向けた対応を継続します。



かんれん せいか しひょう 関連する成果指標	とく かんれん きほん もくひょう 特に関連する基本目標
せいか しひょう 成果指標	6 相談支援体制の充実・強化等に向けた取組の実施体制を確保
きほん もくひょう 基本目標	(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
SDGs かんれん ゴール SDGs 関連ゴール	3. すべての人に健康と福祉を

事業名称	担当課
施設入所支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	介護が必要な人や、施設への通所が困難な人で、生活介護や自立訓練、就労移行支援のサービスを利用している人に対し、居住の場を提供し、夜間における日常生活上の支援を行います。
------	--

活動指標	第5期		第6期 目標値	
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	573人	570人	567人	565人
事業所数	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所
定員数	501人	501人	501人	501人

【現状の分析及び課題】

市内事業所全体の定員数に対して、多くの施設でほぼ満床の状態が続いています。住み慣れた地域での生活を支援していくという本計画の基本目標を踏まえ、新たな入所施設の開設や増床以外の方法では、多くの入所待機者がある現状を改善していく必要があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

グループホームなどの入所施設以外の選択肢を活用を検討するなどして、特に重度の障がいのある人など、本当にサービスが必要な人が待機することなく施設に入所することが出来るような体制を進めていきます。

多くの重度の障がいのある人の生活の場である入所施設について、新型コロナウイルス感染症や災害時の対策など、必要な支援を行っていきます。



関連する成果指標	特に関連する基本目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標①</li> <li>成果指標②</li> <li>SDGs 関連ゴール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1－(2) 入所施設を利用する人の減少数</li> <li>1－(1) 入所施設から地域での生活に移行する人数</li> <li>3. すべての人に健康と福祉を</li> </ul>

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
ちいき いこう しえん 地域移行支援	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいはう 事業概要	しょうがいしゃ しえん しせつ じどう ふくし しせつ にゆうしよしや せいしんか びやういん にゆういん ひととう たい 障害者支援施設や児童福祉施設の入所者や、精神科病院に入院している人等を対 象として、住まいを確保することや、地域での生活に移行するための相談などを おこな 行います。
------------------	---

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひやうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りやうしやすう 利用者数	1 人	1 人	1 人	1 人
せいしんしやう しやすう うち精神障がい者数	1 人	1 人	1 人	1 人
じぎょうしやすう 事業所数	8 箇所	7 箇所	7 箇所	7 箇所

げんじやう ぶんせきおよ くだい  
【現状の分析及び課題】

げんざい しきゆうけつていしやすう すく りやう しやすう よこ すい  
・現在は支給決定者数が少なく、利用者数も横ばいで推移しています。サービス利用の  
じったいたう はあく ひつやう  
実態等を把握する必要があります。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちやう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

てきせい ていきやう ひ つづ りやう じったいはあく つと  
・適正なサービス提供ができるよう、引き続きサービス利用の実態把握に努めていきま  
す。

かんれん せいりく せいりく  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

せいりく しひやう  
・ 成果指標

1-(1) 入所施設から地域での生活に移行する人数

きほん もくひやう  
・ 基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

SDGs かんれん  
・ SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

事業名称	担当課
地域定着支援	障害者支援推進課

事業概要	<p>居宅において単身で生活している障がいのある人や、家庭の状況等により同居している家族による支援を受けられない障がいのある人を対象として、常時の連絡体制を確保することで、障がいの特性が原因して生じる緊急の事態等に対する相談や支援を行います。</p>
------	---

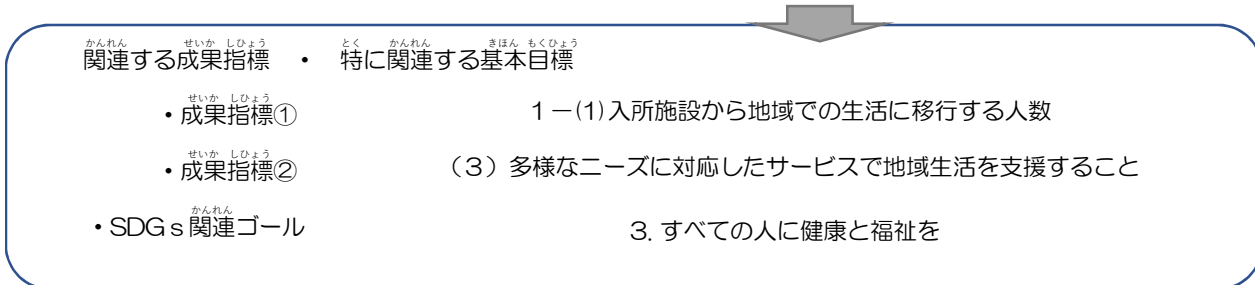
活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	6人	5人	5人	5人
うち精神障がい者数	2人	2人	2人	2人
事業所数	9箇所	8箇所	8箇所	8箇所

【現状の分析及び課題】

<p>・支給決定に対する利用率は100%であるものの、地域移行者が生活するためのフォロー（相談・連絡）体制の構築は、特定相談、委託相談事業で対応することが多く、地域定着支援のサービス利用につながるケースは少ないため、今後の利用者数の減少が想定されます。</p>
--

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<p>・適正なサービス提供ができるよう、引き続きサービス利用の実態把握に努める。</p>
--



じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
じりつ せいかつ えんじよ 自立生活援助	しょうがしや しえん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいやう 事業概要	にゅうしよせつ 入所施設やグループホームから出て、ひとりぐらしをするしょうがいのある人等に対し、居宅を訪問して生活状況などの確認と必要な助言や調整を行う。
------------------	---

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第6期 目標値			
	だい き 第5期	れいわ ねんど 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度
りやうしやすう 利用者数	—	—	—	—
せいしんしやう しやすう うち精神障がい者数	—	—	—	—
じぎょうしやすう 事業所数	0 箇所	1 箇所	2 箇所	3 箇所

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

へいせい ねんど しんせつ  
平成30年度に新設されたサービスであり、しょうがいのある人のひとりぐらしを支え、しょうがいのある人の地域での生活を支援するためのサービスですが、現在、本市では利用実績がないことが課題です。

もくひやう たつせい けいかく じつし まかんちやう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

しょうがいある人のひとりぐらしを支え、しょうがいのある人の地域での生活を支援するためのサービスとして、3区に1事業ずつの整備を見込み、新規参入しやすい環境づくりのため、新規開設を希望する事業者の相談に積極的に応じていきます。

かんれん せいさく しひやう 成果指標 ・ とく かんれん 基本目標 特に関連する基本目標

- ・ 成果指標 1-(1) 入所施設から地域での生活に移行する人数
- ・ 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- ・ SDGs 関連ゴール 3. すべての人に健康と福祉を
- ・ SDGs 関連ゴール 11. 住み続けられるまちづくりを

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
きょたく かいご 居宅介護	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいやう 事業概要	きょたく にゆうよく はいせつとう かいご そうじ せんたくとう かじ ほかにせいかつぜん 居宅において入浴・排泄等の介護、掃除・洗濯等の家事、その他生活全 ばん 般にわたる援助を行います。
------------------	--

かどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひやうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りやうしゃ すう 利用者数	863人	873人	878人	883人
るいけいりやう じかん すう つき 累計利用時間数/月	14,771時間	19,995時間	21,584時間	23,300時間

げんじやう ぶんせきおよ かいだい  
【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>りやうしゃすう りやう じかん ぞうか けいこう ・利用者数、利用時間ともに増加傾向にあります。</li> <li>ひつやう ぎやうしやうすう かくほ ・必要な事業所数を確保していくために、ヘルパー不足解消のための取組を推進していく必要があり あります。</li> </ul>
---

もくひやう たっせい  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>りやう かくだい たいおう ・利用ニーズの拡大に対応できるよう、引き続きサービス利用の実態把握に努め、体制等を整え ていきます。</li> <li>かいごしょくいんしよにんしゃけんしゆうじゆうろうじよせいきん じぎやう しゆうち かつやう ・介護職員初任者研修受講就労助成金事業などを周知・活用し、ヘルパーの育成・増加を進めて いきます。</li> </ul>
---



かんれん せいかしひやう 関連する成果指標	とく かんれん きほん もくひやう 特に関連する基本目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>せいか しひやう ・成果指標</li> <li>きほん もくひやう ・基本目標</li> <li>SDGs かんれん ・SDGs 関連ゴール</li> </ul>	<p>1-(1)入所施設から地域での生活に移行する人数</p> <p>(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</p> <p>3. すべての人に健康と福祉を</p>

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
じゅうど ほうちん かいご 重度訪問介護	しょうがしや しえん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいやう 事業概要	じゅうど しやう ひと じやうじ かいご やう ひと きやたく にゆ 重度の障がいのある人で、常時の介護を要する人について、居宅にて入 うよく はいせつとう かいご そうじ せんたくとう かじ ほかせいかつぜんばん え 浴・排泄等の介護や、掃除・洗濯等の家事、その他生活全般にわたる援 んじょ いどうちゆう かいご そうごうてき おこな 助や移動中の介護を総合的に行います。
------------------	--

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期		だい き もくひやうち 第6期 目標値	
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りやうしやう 利用者数	53人	57人	60人	62人
るいけりやう じかん すう つき 累計利用時間数/月	11,805時間	12,246時間	12,472時間	12,703時間

げんじやう ぶんせきおよ くだい  
【現状の分析及び課題】

- りやうしやう ねんねん にんていど ぞうか けいこう しめ  
・利用者数については、年々2～3人程度の増加傾向を示しており、それに伴い利用時間も増加  
しています。
- りやうしや たようか たい かいごしよくいん かくほ むずか あんていてき ていきやう くだい  
・利用者のニーズの多様化に対し、介護職員の確保が難しく、安定的なサービス提供に課題があ  
ります。

もくひやう たつせい けいかく じっし きかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- りやうしや ぞうか みこ たい あんていてき ていきやう  
・利用者の増加が見込まれるのに対し、安定的なサービス提供ができるよう、サービス利用の実態把握に  
つとめず。
- かいごしよくいんしやにんしやけんしゅうじゅうこうしゅうろうじよせいきんじぎやう しゅうち かつやう いくせい ぞうか すず  
・介護職員初任者研修受講就労助成金事業などを周知・活用し、ヘルパーの育成・増加を進めていきま  
す。



かんれん せいかしひやう 関連する成果指標	とく かんれん きほん もくひやう 特に関連する基本目標
せいか しひやう ・成果指標	1-(2) 入所施設を利用する人の減少数
きほん もくひやう ・基本目標	(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
かんれん ・SDGs 関連ゴール	3. すべての人に健康と福祉を



じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
せいかつ かいご 生活介護	しょうがいもや しえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	つね かいご ひつよう ひと たい しせつ にゅうよく はい しょくじ 常に介護が必要な人に対し、施設において入浴や排せつ、食事の かいご そうさくてきかつどう せいさんかつどう まかい ていきょう 介護や創作的活動や生産活動の機会を提供します。
------------------	--

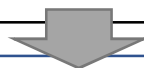
かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期		だい き もくひょうち 第6期 目標値	
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃ すう 利用者数	1,384人	1,470人	1,515人	1,561人
るいけい りよう にっすう つき 累計利用日数/月	27,378日	30,223日	31,148日	32,094日
じぎょうしょ すう 事業所数	51箇所	52箇所	53箇所	54箇所

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

• 利用者数、利用日数ともに増加傾向であり、今後も増加することが予想されます。平均障害支援区分が5以上になると職員配置の大幅な増員が求められることなどにより、事業所の経営が難しくなっているため、重症心身障がいや強度行動障がいに対応できる事業所の確保が課題です。

もくひょう たっせい けいかく じっし きかんちゅう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

• 重度の障がいがある人に対応できる事業所の新規開設を希望する事業者の相談に積極的に応じます。  
• 強度行動障がい者支援施設サポート事業の活用などにより、施設の受け入れ体制を強化していきます。



かんれん せいかしひょう 関連する成果指標	• とく かんれん きほんもくひょう 特に関連する基本目標
• 成果指標	1-(2) 入所施設を利用する人の減少数
• 基本目標	(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
• SDGs 関連ゴール	3. すべての人に健康と福祉を
• SDGs 関連ターゲット	

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
じりつ くんれん きのう くんれん 自立訓練 (機能訓練)	しょうがいしゃ しまん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがいふくし まかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	<p>どりつ にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ いってい まかん しょうたいきのう 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能の向上のため、リハビリテーションなどの必要な訓練を行います。</p>
------------------	---

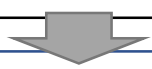
かどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	24人	33人	40人	49人
るいけりようにつすう つき 累計利用日数/月	248日	325日	394日	483日
じぎょうしもう 事業所数	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所

げんじょう ぶんせきおよ くだい  
【現状の分析及び課題】

りよう しゃすう りよう じかん ぞうか けいこう せんもんでき せつび しょくいん  
 ・利用者数、利用時間ともに増加傾向にあります。専門的な設備や職員によるサービス提供の必要性が高いため、公施設での当該サービスの提供を継続する必要があります。

もくひょう たっせい けいかく じっし まかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

こうせつしせつ しずおかしんしんしょうがいしゃ してい かんりしゃ れんけい  
 ・公施設である「静岡市中心身障害者ケアセンター」において、指定管理者と連携しながら、利用率やサービス内容の向上に向けた取組を進めています。



かんれん せいかしひょう 関連する成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標</li> <li>基本目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とく かんれん きほんもくひょう 特に関連する基本目標</li> <li>1-(1)入所施設から地域での生活に移行する人数</li> <li>(3)多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</li> </ul>
SDGs かんれん SDGs 関連ゴール		3. すべての人に健康と福祉を

事業名称	担当課
自立訓練 (生活訓練)	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における生活能力の向上のために、入浴、排せつ、食事等の必要な訓練を行う。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	40人	37人	37人	37人
累計利用日数/月	484日	482日	482日	482日
事業所数	3箇所	4箇所	4箇所	4箇所

【現状の分析及び課題】

利用者数、利用時間ともに減少傾向にあります。専門的な設備や職員によるサービス提供の必要性は高いため、公施設等での当該サービスの提供を継続する必要があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

利用者数、利用時間数は減少傾向ではありますが、地域での自立した生活を支援してサービスの一助として、公施設である「静岡市心身障害者ケアセンター」において、指定管理者と連携しながら、利用率やサービス内容の向上に向けた取組を進めていきます。



関連する成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標</li> <li>基本目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に関連する基本目標</li> <li>1-(1)入所施設から地域での生活に移行する人数</li> <li>(3)多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること</li> </ul>
SDGs 関連ゴール		3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
たんき にゅうしょ ふくしがた 短期入所（福祉型）	しょうがいしゃしえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがいふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	ふだん じたくとう せいかつ かた かいご おこな ひと しつぺいとう りゆう たんきかん 普段は自宅等で生活している方が、介護を行う人の疾病等の理由により短期間 の施設への入所を必要とするときに、障害者支援施設等で、必要な介護等の支 援を行います。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き もくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしすう 利用者数	183人 (うち児童15人)	303人 (うち児童24人)	321人 (うち児童26人)	340人 (うち児童27人)
るいけいよう にっすう つき 累計利用日数/月	938日	1,439日	1,525日	1,615日
じぎょうしすう 事業所数	26箇所	35箇所	44箇所	54箇所

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- 利用者数は増加傾向にあり、今後も利用ニーズは拡大していくと予想されます。
- 多様な障がい特性に対応できる体制の整備が課題であり、併せて、緊急時の利用の受入れを調整する機能が必要です。

もくひょう たっせい  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 障がい児の受入を可能とする事業所が少ないため、障がい児に対応できる体制整備を進めていきます。
- 短期入所サービス事業所や短期入所の併設が義務付けられている日中サービス支援型グループホームなどに社会福祉施設等整備事業費補助金を交付することで、短期入所の受け皿を増加していきます。
- 地域生活支援ネットワーク事業（まいむ・まいむ）の機能を強化することで、緊急時でも短期入所が利用しやすい体制を構築していきます。
- 短期入所利用時に健康診断書の様式を統一するなど、手続きの簡素化を検討していきます。

かんれん せいかしひょう  
関連する成果指標

- 成果指標
- 基本目標

かんれん せいかしひょう  
特に関連する基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

3. すべての人に健康と福祉を

事業名称	担当課
短期入所（医療型）	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	普段は自宅等で生活している人が、介護を行う人の疾病等の理由により短期間の施設への入所を必要とするときに、障害者支援施設（医療法に規定する病院）等で、必要な介護等の支援を行います。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	50人 (うち児童22人)	72人 (うち児童31人)	73人 (うち児童32人)	74人 (うち児童33人)
累計利用日数/月	207日	295日	299日	303日
事業所数	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所

【現状の分析及び課題】

- 利用者数、利用時間ともに減少傾向にあります。
- 医療的ケアが必要な重症心身障がい者（加齢児）が利用できる短期入所先は依然として不足しており、介護者の負担を軽減する上でも大きな課題となっています。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 必要な人に支援がいきわたるよう、ニーズの把握に努めていきます。
- 地域生活支援ネットワーク事業（まいむ・まいむ）の機能を強化すること医療的ケア児コーディネーターを活用することで、緊急時でも短期入所が利用しやすい体制を構築していきます。
- 短期入所利用時に健康診断書の様式を統一するなど、手続きの簡素化を検討していきます。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標
- 基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

・SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
ほうもん にゅうよく 訪問入浴サービス	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいはう 事業概要	からだ しょう 身体に障がいのある人で、かてい にゅうよく せつび にゅうよく こんなん ひと にゅうよく しえん おこな 家庭の入浴設備では入浴が困難な人に、入浴支援を行います。
------------------	--

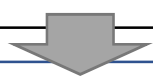
かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひやうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
とうろくりやうしやう 登録利用者数	62人	63人	64人	65人

げんじやう ふんせき およ かいだい  
【現状の分析及び課題】

- りやうしやうすう ねんねん ぞうかけいこう  
利用者数も年々増加傾向にあり、あんてい  
安定してサービスを提供できています。
- ねんかん りやう じやうげあいうすう かい すすく  
年間利用上限回数が96回では少ないという利用者の声があり、ぞうか ひつやうせい けんとう ひつやう  
増加の必要性を検討する必要があります。

むくひやう たっせい  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- とうろくりやうしや へ りやう かいすう じやうげん  
登録利用者へ利用回数の上限についてのアンケートを行い、おこな げっか ぶ ひつやうせい けんとう  
結果を踏まえて必要性を検討していきます。



かんれん せいかしひやう  
関連する成果指標

- せいか しひやう  
成果指標
- きほん むくひやう  
基本目標

とく かんれん きほん むくひやう  
特に関連する基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

SDGs かんれん ゴール  
3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
しょうがい しえん くぶん にんていとう じむ 障害支援区分認定等事務	しょうがい しえん さいしん か 障害者支援推進課 かくしょうがいしえんか 各区障害者支援課

じぎょうがいう 事業概要	しょうがいのさまざまなとくせいやそのた こころ からだ じょうたい おうじてそのひと ひつよう しえん の度合いを示す「障害支援区分」の認定に係る審査や判定を行います。また、適 切に審査や判定が行われるよう、審査会委員に対する研修を行います。
-----------------	---

かどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
たいしょうしゃすう 対象者数	1,101人	1,627人	1,200人	1,289人
かいさいかいすう 開催回数	41回	54回	40回	43回

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- 審査会委員に研修等への参加を促し、審査方法等の理解の促進や、審査委員の資質の向上をより図る必要  
があります。
- 調査員に研修を行い、知識の平準化を図る必要があります。

むくひょう たっせい けいかく じっし きかんちゅう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 今後も継続して調査員を対象とした研修を行い、調査員による適正な調査や資料の作成ができる体制づ  
くりを進めていきます。
- 審査会委員については、県主催の審査会委員研修への参加を促し、審議内容の均一性を図ります。

かんれん せいかしひょう 関連する成果指標 ・ とく かんれん きほん むくひょう  
特に関連する基本目標

せいカ しひょう  
・ 成果指標

きほん むくひょう  
・ 基本目標

かんれん  
・ SDGs 関連ゴール

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
にちじょうせいかつようぐ じよせい じぎょう 日常生活用具助成事業	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいよう 事業概要	しょうがいのあるひとが円滑な日常生活を営めるように、障がいの種類や程度に おうにちじょうせいかつ しえん しょうぐ こうにゆうひ じよせい 応じた日常生活を支援する用具の購入費を助成します。
------------------	---

かどうしひやう 活動指標 しきゆうけんすう (支給件数)	だい き 第5期	だい き もくひやうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
かいご くんれんしえんようぐ 介護・訓練支援用具	105件	108件	108件	108件
じりつせいかつしえんようぐ 自立生活支援用具	570件	686件	686件	686件
ざいたりやうちやえんようぐ 在宅療養等支援用具	131件	126件	126	126件
じょうほう いしそつしえんようぐ 情報・意思疎通支援用具	479件	435件	435件	435件
はいせつかんりしえんようぐ 排泄管理支援用具	32,518件	27,398件	27,398件	27,398件
きたくせいかつ どうき ほじょ しようぐ 居宅生活動作補助用具 (住宅改修費)	16件	17件	17件	17件

げんじやう ぶんせき およ かいだい  
【現状の分析及び課題】

- いろいろな技術の開発が進んでいることで、制度の対象となる用具の品目も増加してきています。
- 今後の課題として、各種団体から要望のある用具について、国と県のガイドラインを参考に、支援用具としての安全性などを確認し、助成の対象を検討していく必要があります。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちやう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 対象品目の追加について、当事者や開発メーカーへのヒアリングを実施し、検討していきます。



かんれん せいかしひやう  
関連する成果指標

• 基本目標

• SDGs 関連ゴール

とく かんれん きほん もくひやう  
特に関連する基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

3. すべての人に健康と福祉を



事業名称	担当課
発達障害者家族支援体制整備事業	障害福祉企画課

事業概要	発達障がい児者への相談や助言を家族等の立場で行う「ペアレントメンター」等の養成や、学校や事業所を訪問して発達障がいのある人を支援する人の資質向上を取組を行うほか、障がい児者やその家族の支援を関係機関と連携して行います。
------	---

活動指標 (支給件数)	第5期		第6期 目標値	
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ペアレントメンター・ 地域サポーター 養成研修実施回数 (市が独自に設定)	6回	6回	6回	6回
学校・事業所等 訪問支援箇所数 (市が独自に設定)	33箇所	40箇所	43箇所	46箇所

【現状の分析及び課題】

学校や事業所等に訪問して行う支援サポートコーチ巡回相談やペアレントメンター養成研修により、支援者への支援が適切に行われています。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

支援サポートコーチ巡回相談の箇所数を増加し、更なる支援者の対応力向上を進め、発達の気になる子や発達障がい児者への支援体制を強化していきます。  
巡回先が偏ることがないように、園長会や校長会等を利用し広く周知を図っていきます。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール② 4. 質の高い教育をみんなに
- SDGs 関連ターゲット 4.2 2030年までに、全ての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

事業名称	担当課
重症心身障がい児（者）を支援する人材の確保・養成	障害福祉企画課

事業概要	看護専門学校や福祉大学の学生、小中学生、一般市民などを対象に、重症心身障がい児（者）とのふれあいや出前講座を行い、障がい児者への理解を深め、障がい児者の目線で支援できる人材を増やします。
------	---

活動指標 （支給件数）	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数 （市が独自に設定）	8回	8回	8回	8回

【現状の分析及び課題】

- 障がい児者を支援できる人材の実質的な増加を図るため、必要に応じた講座内容の刷新が必要です。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 委託団体が立ち上げた生活介護事業所での経験やノウハウを生かし、講座内容の更なる充実を図ります。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

・ 基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

・ SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんどうか 担当課
きやうど こうどうしやう しゃ しえん しせつ じぎやう 強度行動障がい者支援施設サポート事業	しやうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎやうがいやう 事業概要	<p>きやうど こうどうしやう ひと げん い にやうしよしせつ つうしよしせつ せんもんか 強度行動障がいのある人を現に受け入れている入所施設や通所施設において、専門家から じっせん じえん じぎやう じぎやう 実践による支援へのアドバイスやサポートを受け、地域における支援技術の向上と入所 つ つうしよしせつ れんけい しえん たいせい こうちく 設と通所施設が連携した支援体制を構築します。</p>
------------------	--

かつどうしひやう 活動指標 しきゆうけんすう (支給件数)	だい き 第5期		だい き もくひやうち 第6期 目標値	
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
つうしよしせつ はけん かいすう 通所施設派遣回数 (市が独自に設定)	30かい	24かい	24かい	24かい
にやうしよしせつ はけん かいすう 入所施設派遣回数 (市が独自に設定)	6かい	6かい	6かい	6かい

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>にやうしよしせつ へいせい ねんど じぎやう つづ しえん りよく おお こうじやう み 入所施設は、平成29年度から事業を続けており、支援力の大きな向上が見られています。</li> <li>つうしよしせつ ふたり つうしよしせつ はけん じっし じぎやう じっし 通所施設サポートでは、アドバイザー二人を通所施設に派遣してサポートを実施しており、事業を実施した通所施設からは、「支援体制を見直すきっかけになった」との感想が得られています。</li> </ul>
--

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>にやうしよしせつ つうしよしせつ じんざい いくせい すず じれい けんしやうかい とう じぎやう ないやう せいか しない 入所施設、通所施設におけるさらなる人材育成を進めるため、事例検証会等で事業の内容や成果を市内事業所に周知、共有していきます。</li> </ul>
---

かんれん せいかしひやう  
関連する成果指標

とく かんれん きほん もくひやう  
特に関連する基本目標

きほん もくひやう  
・基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

かんれん  
・SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
しかく しょう しゃ りかい そくしん かん ふきゅう けいはつ そうだん しえん じぎょう 視覚障がい者の理解促進に関する普及啓発、相談・支援事業	ちいき 地域リハビリテーション ずいしん 推進センター しょうがいふくしまかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	しかく しょう りかい しえん ふか けんしゅうかい かいさいい ほこう 視覚障がいへの理解や支援が深まるように、研修会を開催したり、歩行 くんれん おこな しえん そくしん はたら 訓練を行ったり、支援ネットワーク促進の働きかけをしたりすること できせつ しえん つな で、適切な支援に繋がります。
---------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しえんしゃ む けんしゅうかいさいい 支援者向け研修開催 (市が独自に設定)	1 かい 回	1 かい 回	1 かい 回	1 かい 回
ほこう くんれん じぎょう まんぞくど 歩行訓練事業満足度 (市が独自に設定)	—	50%	60%	70%

げんじょう ぶんせきおよ くだい 【現状の分析及び課題】

しずおかし においては、しかく しょう かん 視覚障がいに関する相談機関やサービスが不足しており、できせつ しえん い 適切な支援が行き届いていない状態であるため、こんご しの しかく しょう しえん 今後の市の視覚障がい支援のあり方についてたいせい こうちく ひつよう 体制を構築する必要があります。

むくひょう たっせい けいかく じっし きかんとちゅう とりぐみ 【目標達成のための計画実施期間中における取組】

かんけいきかん れんけい ネットワークの推進・構築に取り組みます。  
ちいき せんもんきかん しえんしゃ いくせい ひつようせい かんれん しょうがいふくし ふく しかくしょう 地域における専門機関や支援者の育成の必要性や、関連する障害福祉サービスを含めた視覚障がいのある人への支援の在り方についてけんとう しえんたいせい じゅうじつ ほか 検討し、支援体制の充実を図っていきます。

かんれん せいかしひょう とく かんれん きほんむくひょう 関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- ・ 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- ・ SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- ・ SDGs 関連ゴール② 10. 人や国の不平等をなくそう
- ・ SDGs 関連ターゲット 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

大分野3：医療・保健  
～健康を保つ～

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとくか 担当課
いとう はつたつしょうがいたいおうりよくけんしゅうこうぎ かかりつけ医等発達障害対応力研修講座	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいはう 事業概要	はつたつしょうがいたいおうりよくけんしゅうこうぎ 発達障がいがある人が日頃から受診する診療所の主治医等に向けて、国の研修内容を踏まえた研修を行うことで、発達障がいがある人が適切な診療を受けるための環境を整備していきます。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標 (支給件数)	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
けんしゅうじっしさいすう 研修実施回数 (市が独自に設定)	かい 3回	かい 3回	かい 3回	かい 3回

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

いし さんか 医師が参加しやすいように、平日夜間に開催しています。
じゅこうしゃ かいとう 受講者アンケートの回答では、研修内容に「満足している」が8割を超えています。

むくひょう たっせい けいかく じっし ぎかんちゅう  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

いしかい 医師会のほか、歯科医師会や薬剤師会等へも周知を行い、さまざまな分野の医師の受講につなげていきます。
---

かんれんする せいかりひょう  
関連する成果指標

- 基本目標
  - (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
  - (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- SDGs 関連ゴール
  - 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ターゲット
  - 3.8 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。

とく かんれん きほんちくひょう  
特に関連する基本目標

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
りょうようかいご 療養介護	しょうがいもやしん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいよう 事業概要	いりょう ひつよう しょう じ しや つね かいご ひつよう ひと たい いりょう まかん 医療の必要な障がい児者で常に介護が必要な人に対し、医療機関で きのう くんれん りょうよう じょう かんり かんご かいご せわ おこな 機能訓練や療養上の管理、看護、介護や世話をを行います。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りょうしゃ すう 利用者数	107人	107人	107人	107人
じぎょうしょ すう 事業所数	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
ていん すう 定員数	280人	280人	280人	280人

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

りょうしゃすう よこ すい ・利用者数は横ばいで推移しており、今後も同様の傾向が続くと考えられます。
---

もくひょう たっせい けいかく じっし しかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<p>・今後も、重症心身障がい児施設等に入所している障がいのある児童が、18歳になった際に、療養介護にスムーズに移行するため、同施設による療養介護の提供を引き続き受けられるよう、障害区分認定調査や支給決定等のサービスを利用するための必要な手続きを、児童相談所と各福祉事務所が連携し、円滑に進めていきます。</p>
--



かんれんする せいかりひょう 関連する成果指標	とく かんれん 基本もくひょう ・ 特に関連する基本目標
基本目標	(1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること
SDGs かんれん ゴール	3. すべての人に健康と福祉を

大分野4：生活環境  
～暮らす～



事業名称	担当課
共同生活援助	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	障がいのある人に対し、地域で共同生活をおくることができる住まいの場で、入浴や排せつ、食事の介護、日常生活上の相談や援助などを行います。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	351人	484人	554人	626人
うち精神障がい者数	—	151人	180人	211人
事業所数	34箇所	40箇所	42箇所	49箇所
定員数	420人	523人	563人	628人

【現状の分析及び課題】

※数値は、日中サービス支援型を含みます

- 利用者数が増加傾向にありますが、事業所数も増加しており、定員数に対する利用者数の割合も一定量を維持することができています。
- 一方で、入所施設等からの地域移行の受け皿としての役割が期待され、また、現在、在宅で生活している障がいのある人についても、介護者の高齢化に伴いニーズが拡大しているため、今後も必要量を確保していく必要があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 新規事業所の施設整備のため、社会福祉施設等施設整備事業費補助金や、既存住宅の活用や、民間賃貸住宅の借り上げなど、社会資源を活用することにより、サービス提供量の確保につなげていきます。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標 1- (1) 入所施設から地域での生活に移行する人数
- 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- SDGs 関連ゴール 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール 11. 住み続けられるまちづくりを
- SDGs 関連ターゲット 11.1 2030年までに、全ての人の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助 (日中サービス支援型)	しょうがいしゃ しえん すいしんか 障害者支援推進課 しょうがい ふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	つねに介護が必要な障がいのある人に対し、地域で共同生活をおくることが できる住まいの場で、入浴や排せつ、食事の介護、日常生活上の相談 や援助などを行います。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃ すう 利用者数	0人	80人	120人	160人
うちせいしんしょう うち精神障がい者数	0人	21人	32人	43人
じぎょうしょ すう 事業所数	1箇所	4箇所	6箇所	8箇所
ていん すう 定員数	20人	80人	120人	160人

【現状の分析及び課題】

・ 今後、新規事業所が開設されることで、利用者も増加していく見込みです。  
 ・ 一方で、入所施設等からの地域移行の受け皿としての役割が期待され、また、現在、在宅で生活している障がいのある人についても、介護者の高齢化に伴いニーズが拡大しているため、今後も必要量を確保していく必要があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

・ 新規事業所の施設整備のため、社会福祉施設等施設整備事業費補助金や、既存住宅の活用や、民間賃貸住宅の借り上げなど、社会資源を活用することにより、サービス提供量の確保につなげていきます。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- ・ 成果指標 1- (1) 入所施設から地域での生活に移行する人数
- ・ 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- ・ SDGs 関連ゴール 3. すべての人に健康と福祉を
- ・ SDGs 関連ゴール 11. 住み続けられるまちづくりを
- ・ SDGs 関連ターゲット 11.1 2030年までに、全ての人の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
ふくし 福祉ホーム運営補助	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	じゅうきょ ひつよう 住居を必要とする障がいのある人に、低額な料金で住まいの場を提供するとともに、にちじょうせいかつ ひつよう しえん おこな 日常生活に必要な支援を行うことにより、障がいのある人の自立した地域生活を支援します。
------------------	--

かどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
じっし かしよ すう 実施箇所数	かしよ 3箇所	かしよ 3箇所	かしよ 3箇所	かしよ 3箇所

げんじょう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

- 実施箇所数は、計画値を達成していますが、うち2施設は定員に達していません。
- 空室について、しょうがい しゃぎやくたい  
障害者虐待における緊急時の一時保護場所のほか、ゆうこう かつよう ほうほう  
有効に活用する方法について、施設側と協議を行う必要があります。

もくひょう たっせい  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 経費の有効活用のためにも、くうしつ ほうせい  
空室を発生させないよう事業所の協力を求めたい。
- しょうがい ひと どりつ  
障がいのある人の自立した地域生活に対する支援を継続して行っていきます。また、くうしつ かつよう けん  
空室の有効活用の検討を進めていきます。

かんれん せいかしひょう  
関連する成果指標

- くに かんれん 基本目標
  - (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- SDGs 関連ゴール
  - 3. すべての人に健康と福祉を
  - 11. 住み続けられるまちづくりを
- SDGs 関連ターゲット
  - 11.1 2030年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
どうこう えんご 同行援護	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいよう 事業概要	<p>視覚障がいにより、移動することがとても困難である障害のある人等に対して、外出時の移動の支援や、排せつや食事の介護など、外出するときに必要な援助を行います。</p>
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしやすう 利用者数	178人	211人	230人	251人
るいけいりようじかんすう / 月 累計利用時間数/月	2,217時間	2,479時間	2,622時間	2,773時間

げんじょう ぶんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>支給決定者数及び利用者数が減少傾向にあります。</li> <li>令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が在宅にいたるが増え、年度末の利用時間数が減少したと考えられます。</li> <li>利用者のニーズの多様化に対し、介護職員の確保が難しく、安定的なサービス提供に課題があります。</li> </ul>
---

もくひょう たっせい けいかく じっし きかんちゅう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用ニーズの多様化に対応できるよう、引き続きサービス利用の実態の把握に努め、体制等を整えていきます。</li> </ul>
--

かんれん せいか しひょう • とく かんれん きほん もくひょう  
関連する成果指標 • 特に関連する基本目標

- 基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
- SDGs 関連ゴール 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール 11. 住み続けられるまちづくりを
- SDGs 関連ターゲット 11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

事業名称	担当課
行動援護	障害者支援推進課

事業概要	知的障がい又は精神障がいにより、行動することがとても難しい障がいのある人等で、常に介護を必要とする人に対して、行動する際に危険を回避するために必要な援護や、外出するときや移動するときの介護や、食事の介護など、行動する際に必要な支援を行います。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	5人	4人	4人	3人
累計利用時間数/月	161時間	140時間	131時間	122時間

【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数が減少傾向を示しています。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、外出などが減少することから、今後、利用時間の減少が想定されます。</li> <li>業務の困難性等により職員の確保が難しく、新たな事業所の参入が期待できない状況であるため、強度行動障がい者、重度の視覚障がい者への訪問サービスの充実が課題となっています。</li> </ul>
--

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の新規開設を希望する事業者等の相談に積極的に応じるなど、新規開設に向けた対応を継続していきます。</li> </ul>
---

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
- SDGs 関連ゴール 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール 11. 住み続けられるまちづくりを
- SDGs 関連ターゲット 11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
いどう しえん じぎょう 移動支援事業	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがいふくしまくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	おくがい いどう こんなん しんたい ちてき せいしん しょう 屋外での移動が困難な身体・知的・精神障がいのある人の外出を支援し、 じりつ せいかつ およ しゃかい さんか をそくしん 自立生活及び社会参加を促進します。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	660人	660人	660人	660人
るいけいりようじかんすう につき 累計利用時間数/月	6,642時間	6,642時間	6,642時間	6,642時間

げんじよう ふんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

- 前計画期間では、特別な理由がある事例の通学時の利用について検討するため、「通学における移動支援個別検討会議」を開催しました。
- 新型コロナウイルスの影響により、利用者が在宅にいることが増え、利用者数が減少することが予想される。ウィズコロナでの生活スタイルに合わせた支援の在り方を検討する必要があります。

もくひょう たっせい けいかく じっし きかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- ポストコロナ、アフターコロナを見据え、新しい利用方法として、グループ支援を追加し、利用方法の選択肢を増やしていきます。
- 引き続き、移動支援事業の適正な利用方法について窓口を通して周知していきます。

かんれん せいかしひょう  
関連する成果指標

とく かんれん きほんもくひょう  
特に関連する基本目標

• 基本目標

(2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること

• SDG s 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

• SDG s 関連ゴール

11. 住み続けられるまちづくりを

• SDG s 関連ターゲット

11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
じどうしゃ うんてん めんきょ しゅとく ひ およ じどうしゃ かいぞう ひ ほじょ じぎょう 自動車運転免許取得費及び自動車改造費補助事業	しょうがいしゃ しえん せいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいう 事業概要	しんたい しょう ひと じりつ しゃかい さんか そくしん すず 身体障がいのある人の自立と社会参加促進を進めるため、うんてん めんきょ しゅ とく ひつよう ひよう いちぶ うんてん じどうしゃ かいぞう ひつよう ひよう 得するために必要な費用の一部や運転する自動車の改造に必要な費用の いちぶ じよせい 一部を助成します。
-----------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
じよせいけんすう 助成件数	けん 7件	けん 7件	けん 7件	けん 7件

【現状の分析及び課題】

• 身体障がいのある人の自立と社会参加促進を進めるための事業ですが、実績は横ばいとなっています。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

• 身体障がいのある人の自立と社会参加促進を進めるため、運転免許取得費用の助成については新規免許取得者を対象に、自動車改造費用の助成については中途身体障がい者も含め、効果的な事業の周知を行います。



かんれん 関連する成果指標	とく かんれん きほん もくひょう 特に関連する基本目標
• 基本目標	(2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
• SDGs 関連ゴール	3. すべての人に健康と福祉を
• SDGs 関連ゴール	11. 住み続けられるまちづくりを
• SDGs 関連ターゲット	11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

46自動車運転免許取得費補助事業については、47自動車改造費補助事業と同一予算事業であり、予算執行等、柔軟かつ適切に実施していくため当該計画上も47自動車改造事業に統合するものとし、46自動車運転免許取得費補助事業は削除することとします。

大分野5：安全・安心  
～備える・つなぐ～



大分県

⑤安全・安心～備える・つなぐ～

小分県

(3) 将来の生活を考えるための支援

大分県2より再掲

事業名称		担当課
ちいき せいかつ しえん きょてん どう せいび 地域生活支援拠点等の整備		しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課
事業概要	障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、様々な支援を切れ目なく提供するため、5つの機能（「相談」、「緊急時の受入・対応」、「体験の機会」、「専門性」、「地域の体制作り」）を持つネットワークを構築します。	

大分県2より再掲

事業名称		担当課
せいしん しょう たいおう ちいき ほうかつ こうちく じぎょう 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築事業		せいしん けんけんふくし かい 精神保健福祉課
事業概要	精神障がいのある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、保健、医療及び福祉関係者等による包括的な支援体制の構築を図ります。	

大分県2（1）より再掲

事業名称		担当課
しょうがいしゃ そうだん しえん じぎょう 障害者相談支援事業		しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課
事業概要	障がいのある人が、障がいの種類に関わらず、持っている能力や適性にあわせて、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、障がいのある人やその関係者からの相談に応じて必要な情報を提供したり、助言をしたりして支援を行います。また、関係機関との連絡調整や、地域連携システム（ネットワーク）を構築するための会議を開催します。	

大分県1（4）より再掲

事業名称		担当課
せいねん こうけん せいど りりょう しえん じぎょう 成年後見制度利用支援事業		ふくし 総務課・しょうがいふくし きかく か 福祉総務課・障害福祉企画課 高齢者福祉課・精神保健福祉課
事業概要	知的障がい、精神障がい、認知症等により、お金や財産の管理や日常生活を行うことが難しい人が、支援者がいないことなどが理由で成年後見制度の利用ができない場合に、市長申立を適切に行い、制度の利用につなげます。また、利用につながった後に、利用者に資産がない場合は、制度を利用するために必要な成年後見人への報酬の助成を行い、継続して利用できるよう支援します。	

大分県1（4）より再掲

事業名称		担当課
せいねん こうけん せいど ほうじん こうけん しえん じぎょう 成年後見制度法人後見支援事業		ふくし 総務課・しょうがいふくし きかく か 福祉総務課・障害福祉企画課 精神保健福祉課
事業概要	市民後見人候補者に法人後見支援員としての活用を提供することで、法人後見の活動を支援し、障がいのある人の権利擁護を図る。	

大分県2（2）より再掲

事業名称		担当課
ちいき ていちゃく しえん 地域定着支援		しょうがいふくし 推進課 障害者支援推進課
事業概要	居宅において単身で生活している障がいのある人や、家庭の状況等により同居している家族による支援を受けられない障がいのある人を対象として、常時の連絡体制を確保することで、障がいの特性が原因して生じる緊急の事態等に対する相談や支援を行います。	

大分県2（3）より再掲

事業名称		担当課
じりつ くんれん せいかつ くんれん 自立訓練（生活訓練）		しょうがいしゃ 支援 推進課 障害者支援推進課 障害福祉企画課
事業概要	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における生活能力の向上のために、入浴、排せつ、食事等の必要な訓練を行う。	

大分野6：子ども  
～育てる・学ぶ～

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
じどう ほったつ しえん 児童発達支援	しょうがいしゃ しえん せいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	しょうがいのある児童に対し、通所施設にて、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行います。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	480人	817人	1,066人	1,390人
るいけいりょうにっすう つき 累計利用日数/月	4,903日	8,799日	11,481日	14,970日
じぎょうしよすう 事業所数	34箇所	46箇所	59箇所	76箇所

【現状の分析及び課題】

- 利用者数、利用日数ともに増加傾向です。
- 医療的ケアが必要な障がい児や、重症心身障がい児の受け皿を確保していく必要があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 発達障がい児等の早期療育の観点からも、多くの利用対象者に広く認知されることが望ましいです。今後もサービス基盤の整備に努めていきます。
- 児童発達支援センターと児童発達支援事業所の役割を明確にしていくとともに、児童発達支援センターによる事業所への助言等を行う支援体制を進めていくことで、スキルの向上を目指します。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標① 5-(1)-1児童発達支援センターの箇所数
- 成果指標② 5-(2)主に重症心身障がい児を受け入れる児童発達支援の実施箇所数
- 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール② 4. 質の高い教育をみんなに
- SDGs 関連ターゲット 4.2 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
いりやう がた じどう はったつ しえん 医療型児童発達支援	しょうがいしゃ しえん せいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいやう 事業概要	じゆうど しょうがいのある児童 たいし、つうしよ しせつ にちじやう せいかつ における 基本 的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等と、あわせて 治療を行います。
------------------	--

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひやうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りやうしやすう 利用者数	—	—	—	—
るいけい じやう にっすう つき 累計利用日数/月	—	—	—	—
じぎょうしまう 事業所数	かしよ 0箇所	かしよ 0箇所	かしよ 0箇所	かしよ 1箇所

【現状の分析及び課題】

- 現在は、市内近隣市町に医療型児童発達支援を実施する事業所がなく、支給決定を受けている人もいません。
- 現在は、医療的ケアの必要な重症心身障がい児が安心して利用できる児童発達支援事業所の数が少ないという課題があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 医療的ケアの必要な重症心身障がい児が安心して利用できる児童発達支援事業所を確保するため、社会福祉施設等施設整備事業費補助金等の活用により、積極的な整備促進を目指します。

かんれん せいしん しひやう かんれん せいしん きほん むくひやう  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標① 5-(1)-1児童発達支援センターの箇所数
- 成果指標② 5-(2)主に重症心身障がい児を受け入れる児童発達支援の実施箇所数
- 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール② 4. 質の高い教育をみんなに
- SDGs 関連ターゲット 4.2 2030年までに、全ての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

じぎょうめいししょう 事業名称	たんとうか 担当課
ほうかご とう 放課後等デイサービス	しょうがいしゃ せいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	しゅうがく しょうがいのある じどう たい じゅぎょう しゅうりょうご きゅうぎょうび せいかつ のう 就学している障がいのある児童に対し、授業終了後や休業日に、生活能 りょくこうじょう くんれん しゃかい こうりゅう そくしん かつどう とう おこな 力向上のための訓練や社会交流促進活動等を行います。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	1,459人	1,712人	1,854人	2,008人
るいけいりょうにっすう つき 累計利用日数/月	19,504日	23,848日	25,826日	27,971日
じぎょうしやすう 事業所数	109箇所	128箇所	129箇所	140箇所

げんじょう ぶんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

・利用者数、利用日数ともに増加傾向であり、利用ニーズが高くなっています。今後も、利用者数及び利用日数の拡大が予想されます。

もくひょう たっせい けいかく じっし きかんちゅう どりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

・現在の定員数では、今後、全ての利用希望者の受け入れは困難となる状況であり、潜在的なものも含めたニーズに対応するため、サービス基盤の整備に努め、受け入れ枠を拡大していきます。

かんれん せいか しひょう  
関連する成果指標

- ・ 成果指標
- ・ 基本目標

・ SDGs かんれん  
関連ゴール

とく かんれん きほん もくひょう  
特に関連する基本目標

5-(3) 主に重症心身障がい児を受け入れる放課後等デイサービスの実施箇所数

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
ほいく じょうとう ほうもん しえん 保育所等訪問支援	しょうがいしゃ しえん せいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	しょうがいのある児童の支援に関する知識や指導経験がある児童指導員や保育士が、保育所などを訪問し、障がいのある児童や保育所などのスタッフに対し、障がいのある児童が集団生活に適応するための専門的な指導を行います。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい 5 期 第5期	だい 6 期 第6期		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	10人	12人	13人	14人
るいけいりょうにつすう つき 累計利用日数/月	18日	39日	42日	45日
じぎょうしやうすう 事業所数	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所

【現状の分析及び課題】

- 利用者数がおおむね横ばいで推移しており、今後も同じような傾向が予想されます。
- 支給決定を受けているものの、利用につながっていないケースについて、状況を確認のうえ、必要な支援が届くよう検討していく必要があります。
- 受け入れ側の保育所等への制度の周知、理解促進が課題です。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- インクルーシブ教育の推進を進めていくためにも活用できるサービスであることから、サービスを提供している児童発達支援センター等と連携し、必要な支援が届く体制を強化していきます。
- 利用者や受け入れ先の保育所等に対して、サービスの周知や理解促進を行います。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標
- 基本目標
- SDGs 関連ゴール①
- SDGs 関連ゴール②
- SDGs 関連ターゲット

5-(1)-2 保育所等訪問支援の実施箇所数

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

3. すべての人に健康と福祉を

4. 質の高い教育をみんなに

4.2 2030年までに、全ての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
きょたく ほうもん がた じどう はったつ しえん 居宅訪問型児童発達支援	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし まかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいう 事業概要	がいしゅつ しせつ つうしょ して しえん う が こんなん じゅうしよ せんしん しやう じ たい きょ 外出し、施設に通所して支援を受けることが困難な重症心身障がい児に対し、居 たく ほうもん じちじやう せいかつ における きほんてき どうさ しどう ちしき ぎのう ふよ とう おこな 宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等を行います。
-----------------	--

かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひやうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りやうしやすう 利用者数	にん 1人	にん 1人	にん 1人	にん 1人
るいけいりやうにっすう つき 累計利用日数/月	にち 3日	にち 1日	にち 1日	にち 1日
じぎょうしやすう 事業所数	かしょ 1箇所	かしょ 1箇所	かしょ 1箇所	かしょ 1箇所

げんじやう ぶんせき およ くだい  
【現状の分析及び課題】

げんじやう りやう しよ にん じやうたい つづ ほん ひつやう しょう じどう たい ちやくじつ  
・現状では利用者1人の状態が続いています。本サービスを必要とする障がいある児童に対し、着実にサー  
ビスが提供されるよう体制を構築していく必要があります。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちやう とりぐみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

ぜんびいてき ぶんせき およ ほんかく とうべつしえんがっこう しやうち おこな  
・潜在的なニーズを把握するため、特別支援学校などにサービスの周知を行います。

かんれん せいか しひやう とうく かんれん きほん むくひやう  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- ・ 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- ・ SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- ・ SDGs 関連ゴール② 4. 質の高い教育をみんなに
- ・ SDGs 関連ターゲット 4.2 2030年までに、全ての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
ふくしがた しょうがいに じゅうしよ しえん 福祉型障害児入所支援	じどう そうだん じょ 児童相談所 しょうがいしや しえん すいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいよう 事業概要	しょうがいのある じどう たい にゅうしよ しせつ 障がいのある児童に対し、入所施設において、ほご にかじよう せいかつ じどう およ どりつ せい 保護、日常生活の指導及び独立生活に必要の知識技能の付与を行います。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期		もくひょうち 目標値
	れいわ がんねん じっせき 令和元年度実績	れいわ ねん じゅうしよ 令和3年度	れいわ ねん じゅうしよ 令和4年度	れいわ ねん じゅうしよ 令和5年度
りようしやすう 利用者数	10人	15人	15人	15人
じぎょうしよすう 事業所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
ていいんすう 定員数	27人	27人	27人	27人

げんじよう ぶんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は令和元年度と比較し、1名増加しており、入所が必要な児童に対し遅滞なく対応できています。入所に至る経緯は、保護者からの申請による入所（契約入所）と児童福祉法第27条第1項第3号または第2項による入所（措置入所）があります。退所理由は、集中訓練の終了、就労による自立、家庭引き取り、療養介護への移行等となっています。</li> <li>現在、強度行動障害児や重度障害児を受け入れることができる市内の施設が足りておらず、市外および県外の施設に受け入れを依頼することもあります。また、一旦は施設に入所できた児童も、長期間となると施設では対応できないとの理由から、退所せざるを得ないケースもあります。</li> </ul>
--

もくひょう たっせい けいかく じっし せいかんちゆう とりぐみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な保護者ニーズの把握による適切な相談支援を実施します。</li> <li>関係機関との連携による円滑でかつ切れ目のないケースワークを実施します。</li> </ul>
--

かんれん せいかしひょう とく かんれん きほん もくひょう  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

きほん もくひょう  
・ 基本目標 (1) 障がいの有無に関わらず権利や意思を等しく尊重すること

かんれん  
・ SDGs 関連ゴール 3. すべての人に健康と福祉を



じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
いりょう がたしょうがい じ にゅうしょ しえん 医療型障害児入所支援	じどう そうだん じょ 児童相談所 しょうがいしゃ しまん さいしん かい 障害者支援推進課

じぎょうがいよう 事業概要	しょうがいのある じどう たい にゅうしょ しせつ 障がいのある児童に対し、入所施設において、ほご にちじょう せいかつ しどう およ どりつ せい 保護、日常生活の指導及び自立生 かつ ひつよう ちしき ぎのう の ふよ およ ちりよう おこな 活に必要な知識技能の付与及び治療を行います。 ※療養介護と共用の220床分を含みます。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	19人	23人	23人	23人
じぎょうしすう 事業所数	3箇所	3箇所	3箇所	4箇所
ていじんすう 定員数	280人	280人	280人	290人

げんじょう ぶんせき およ かいだい  
【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は令和元年度と比較し、1名増加しており、入所が必要な児童に対し遅滞なく対応できています。入所に至る経緯は、保護者からの申請による入所（契約入所）と児童福祉法第27条第1項第3号または第2項による入所（措置入所）があります。退所理由は、集中訓練の終了、就労による自立、家庭引き取り、療養介護への移行等があります。</li> <li>現在、強度行動障がい児や重度障がい児を受け入れることができる市内の施設が不足しており、市外および県外の施設に受け入れを依頼することもあります。また、一旦は施設に入所できた児童も、長期間となると施設では対応できないとの理由から、退所せざるを得ないケースもあります。</li> </ul>
--

もくひょう たっせい けいかく じっし きかんちゆう とりぐみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な保護者ニーズの把握による適切な相談支援を実施します。</li> <li>関係機関との連携による円滑でかつ切れ目のないケースワークを実施します。</li> </ul>
--

かんれん せいさく しひょう  
関連する成果指標

とく かんれん きほん もくひょう  
・ 特に関連する基本目標

かんれん  
・ SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

事業名称	担当課
医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整する コーディネーターの配置	障害福祉企画課 障害者支援推進課

事業概要	医療的ケア児等が抱える多分野の課題に対して、保健、医療、福祉、子育て、教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児等とその家族に対してサービスの紹介、関係機関と医療的ケア児等をつなぐ役割を持つコーディネーターを配置します。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国が定める医療的ケア児 コーディネーター配置人数 (要医療児等支援体制加算 対象者)	14人	18人	19人	20人
市が独自に配置する医療的 ケア児等コーディネーター 配置数 (市が独自に設定)	0人	2人	2人	2人

【現状の分析及び課題】

一人一人の医療的ケア児のためには、福祉や医療等の関係分野について一定の知識を有した者によりその暮らしの設計を手助けできる調整者が必要であることが指摘されています。

本市では、国が示す医療的ケア児コーディネーター（加算対象者）は14人いますが、市全体を管轄し、関係機関からの相談にも応じることのできるようなコーディネーターは配置されていません。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

市全体を管轄し関係機関からの相談にも応じられる医療的ケア児等支援コーディネーター2人を配置します。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- ・ 成果指標
  - 5-(4)-2 医療的ケア児等に関するコーディネーターを配置
- ・ 基本目標
  - (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- ・ SDGs 関連ゴール①
  - 3. すべての人に健康と福祉を
- ・ SDGs 関連ゴール②
  - 4. 質の高い教育をみんなに
- ・ SDGs 関連ターゲット
  - 4.2 2030年までに、全ての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
いりやうてき じとう しえん きやうぎかい 医療的ケア児等支援協議会	しょうがい ふくし きかく かい 障害福祉企画課

じぎょうがいう 事業概要	いりやうてき じとう とその かぞく ちいき で ささ えるため、ほけん、いりやう、ふくし、きやういくやう、いりやうてき じとう しえん きやうぎかい について 関係する行政機関や事業所等の担当者が集まり、地域の課題や対応策について意見交換をしたり、情報共有をしたりします。
-----------------	---

かっとうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひやうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きやうぎかい せっち 協議会の設置	せっち 設置	せっち 設置	せっち 設置	せっち 設置

げんじやう ぶんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

- 令和元年度に協議会を設置し、年4回開催しています。
- 令和元年度には、医療的ケア児に関する実態調査を行い、令和2年度から分析を行っています。

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちゆう とりぐみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 実態調査の分析結果を踏まえ、必要な支援の在り方を検討していきます。
- 協議会において、医療的ケア児支援等コーディネーターの役割や、効果的な配置の在り方等について協議を行います。

かんれん せいかしひやう とく かんれん きほん もくひやう  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標 5-(4) 医療的ケアを必要とする障がい児支援のための協議の場の設置
- 基本目標 (3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
- SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール② 4. 質の高い教育をみんなに
- SDGs 関連ターゲット 4.2 2030年までに、全ての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

大分野7：雇用・就労  
～働く～

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
しゅうろう いこう しえん 就労移行支援	しょうがいしゃ しえん せいしん か 障害者支援推進課 しょうがい かくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	いっばん しゅうろう きぼう ひと ない いったい きかん せいせん かつどう たいきょう 一般就労を希望する人に対し、一定の期間において、生産活動などの機会を提供し、就労への移行に必要な知識や能力の向上のための訓練を行います。
------------------	---

かつどうしひよう 活動指標	だい き 第5期	だい き 目標値 第6期		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	190人	249人	285人	326人
るいけいりようにつすう つき 累計利用日数/月	3,238日	4,298日	4,919日	5,627日
じぎょうしよすう 事業所数	16箇所	17箇所	19箇所	21箇所

【現状の分析及び課題】

- 利用者数、利用日数ともに増加傾向にあります。
- 特別支援学校卒業後、直接一般就労などに就職した際、短期間で離職してしまうケースがあることが指摘されています。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 成果指標の達成に向け、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「就労支援部会」や、連絡会などで、市内事業所の情報共有を行うとともに、必要な取り組みを検討していきます。
- 特別支援学校等と就労移行支援事業所等の連携を深め、就職後の長期的なビジョンを見据え、必要な支援につなげられるようにしていきます。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標① 4-(1) 就労移行支援事業所等を通じて一般就労する人数
- 成果指標② 4-(2) 就労移行支援事業所を通じて一般就労する人数
- 成果指標③ 4-(5) 就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する者のうち就労定着支援事業を利用した人数
- 成果指標④ 4-(6) 就労移行率が8割以上の就労支援事業所の割合
- 基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ(アクセシビリティ)を向上させ、社会参加を支援すること
- SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール② 8. 働きがいも経済成長も
- SDGs 関連ターゲット 8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
しゅうろうていちゃくしえん 就労定着支援	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし きかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	しゅうろう いこう しえん とうりょう へ いっぱん しゅうろう しょうがい のある ひと たい きぎょう かんけい 機 就労移行支援等の利用を経て一般就労した障がいのある人に対し、企業や関係機 関等と連携し、就労先で、就労を長く続けることができるように、定着に向けた 支援を行う。
------------------	--

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	47人	196人	401人	819人
るいけいりようにっすう つき 累計利用日数/月	47日	173日	377日	770日
じぎょうしよすう 事業所数	9箇所	9箇所	10箇所	20箇所

げんじやう ぶんせき およ かい  
【現状の分析及び課題】

- ・利用者数、利用日数ともに増加傾向にあります。
- ・特別支援学校を卒業後、一旦は就労しても、その後、職場での理解が得られないなどの理由により短期間で離職してしまうケースなどが指摘されています。

むくひやう たっせい けいかく じっし きかんとちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- ・成果指標の達成に向け、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「就労支援部会」や、連絡会などで、市内事業所の情報共有を行うとともに、必要な取り組みを検討していきます。

かんれん せいかしひやう とうく かんれん きほん むくひやう  
関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- ・成果指標② 4-(5) 就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する者のうち就労定着支援事業を利用した人数

- ・基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ(アクセシビリティ)を向上させ、社会参加を支援すること

SDGs かんれん ゴール①

3. すべての人に健康と福祉を

SDGs かんれん ゴール②

8. 働きがいも経済成長も

- ・SDGs かんれん ターゲット 8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

(2) 障がいの状況や環境の変化に応じた就労の場の確保

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
しゅうろう けいぞく しえん がた 就労継続支援A型	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし まかく せいか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	いっばん しゅうろう ごんなん しょう ひと 一般就労が困難な障がいがある人について、雇用契約を結んだ上で就労の機会の提供や生産活動などの機会の提供や、知識や能力の向上のための訓練を行います。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしゃすう 利用者数	458人	527人	565人	606人
るいけいりようにつすう つき 累計利用日数/月	9,529日	11,104日	11,905日	12,768日
じぎょうしよすう 事業所数	28箇所	32箇所	34箇所	36箇所

【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数、利用日数ともに過去の傾向から増加を示しており、今後も利用拡大が予想される</li> </ul>
---

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の達成に向け、「静岡県障害者自立支援協議会」内の「就労支援部会」や、連絡会などで、市内事業所の情報共有を行うとともに、必要な取り組みを検討していきます。</li> </ul>
--

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標 4-(3) 就労継続支援A型事業所通じて一般就労する人数
- 基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
- SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール② 8. 働きがいも経済成長も
- SDGs 関連ターゲット 8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

(2) 障がいの状況や環境の変化に応じた就労の場の確保

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
しゅうろうけいぞく しえん がた 就労継続支援B型	しょうがいしゃ しえん すいしん か 障害者支援推進課 しょうがい ふくし まかく か 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	いっばん しゅうろう ごんなん しょう 一般就労が困難な障がいがある人について、こよう けいやく むす 雇用契約を結ばずに、しゅうろう 機会 就労の機会の提供やせいさん かつどう 生産活動などの機会提供や、ちしき のうりょく 知識や能力の向上のためのくんれん おこな 訓練を行います。
------------------	--

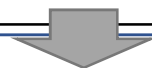
かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしやすう 利用者数	1,372人	1,645人	1,801人	1,972人
るいけいりょうにっすう つき 累計利用日数/月	25,379日	31,173日	34,129日	37,369日
じぎょうしやすう 事業所数	85箇所	85箇所	85箇所	92箇所
へいきんげつがくこうちん 平均月額工賃	調査中	30,000円	30,000円	30,000円

【現状の分析及び課題】

- 利用者数、利用日数ともに過去の傾向から増加を示しており、今後も利用拡大が予想される。
- 平均月額工賃が、全国平均を下回っており、利用者の生活の質（QOL）を維持した上で、工賃を向上させていくことが課題です。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 成果指標の達成に向け、市内事業所の情報共有を行う連絡会の立ち上げを目指し、その中で必要な取り組みを検討していきます。
- 農・福連携等による事業所と仕事のマッチングを進めることや、工賃向上に向けた事業所への技術的支援等を検討していきます。



関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 成果指標 4-(4) 就労継続支援B型事業所通じて一般就労する人数
- 基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
- SDGs 関連ゴール① 3. すべての人に健康と福祉を
- SDGs 関連ゴール② 8. 働きがいも経済成長も
- SDGs 関連ターゲット 8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。



(2) 障がいの状況や環境の変化に応じた就労の場の確保

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
もうじん 盲人ホーム運営補助	しょうがいふくしきかくか 障害福祉企画課

じぎょうがいよう 事業概要	あんまマッサージ指圧免許等を持つ視覚障がいのある人で、就労が困難な方に必要な技術指導を行い、自立を支援するための施設に運営費を補助します。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期			もくひょうち 目標値
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	
りようしゃすう 利用者数	4人	5人	5人	5人	5人
じっし かしよすう 実施箇所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所

【現状の分析及び課題】

視覚障がいのある人の自立した生活に向けた支援となるよう、盲人ホームのあり方や、多面的な就労支援について関係機関と検討を行う必要があります。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

・視覚障がいのある方の自立した生活に向けた支援となるよう、盲人ホームのあり方や、多面的な就労支援について関係機関と検討を行います。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

・基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること

・SDGs 関連ゴール①

3. すべての人に健康と福祉を

・SDGs 関連ゴール②

8. 働きがいも経済成長も

・SDGs 関連ターゲット

8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

大分野8：文化活動・市民生活  
～楽しむ・参加する～

事業名称	担当課
スポーツ教室開催事業	障害福祉企画課

事業概要	日頃スポーツへの参加が難しい障がいのある方のために、スポーツの経験が少ない人でも取り組みやすいスポーツ（フライングディスク、ボッチャ、ボウリングなど）やレクリエーションの体験教室を開催します。障がいのある人の自立と社会への参加を進め、障がいのない人との交流を通じて障がいや障がいのある人への理解を深めます。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	4回	6回	6回	6回
参加者数 (市が独自に設定)	225人	230人	235人	240人
利用者アンケートにおける 今後もスポーツを続けたい 人の割合(市が独自に設定)	-	70%	80%	80%

【現状の分析及び課題】

- ・ 広報による案内や参加者からの口コミにより参加者が増加してきています。
- ・ 障がいのある方の土日の活動の楽しみの場として期待されています。
- ・ スタッフの確保が難しく、各区のスポーツ推進員の協力も必要です。
- ・ 新型コロナウイルス対策を意識した運営が必要です。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- ・ 参加者アンケートによる満足度やスポーツへの関心を教室の運営に反映していきます。
- ・ 新型コロナウイルスを意識した運営を行います。

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

・ 基本目標

(2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること

・ SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

事業名称	担当課
スポーツ大会開催事業	障害福祉企画課 葵区障害者支援課 駿河区障害者支援課

事業概要	障がいのある人もない人も地域で生活する市民として社会への参加を進め、スポーツによる体力を保ち、向上を図り、交流を通じてお互いに新たな出会いや発見をし理解を深めるきっかけとするため、年に1回、葵区または駿河区にてフライングディスクや玉入れなどを行うスポーツイベントを開催します。
------	--

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	1回	1回	1回	1回
参加者数 (市が独自に設定)	131人	140人	150人	160人

【現状の分析及び課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>前計画期間は、計画どおり大会を実施し、障がいのある人やその家族等の親睦と交流を促しました。</li> <li>参加者が高齢化しており、新規参加者の確保が難しくなっています。</li> <li>新型コロナウイルス対策を意識した運営が必要です。</li> </ul>
--

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の周知方法を工夫し、参加者の増加につとめます。</li> <li>新型コロナウイルスを意識した運営を行います。</li> </ul>
---

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

・ 基本目標

(2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること

・ SDGs 関連ゴール

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
しょうがいしゃ 障害者スポーツフェスティバル事業	しょうがい ふくし きかく か 障害福祉企画課 しみず く しょうがいしゃ しえん か 清水区障害者支援課

じぎょうがいよう 事業概要	しょうがいのある人もない人も地域で生活する市民として社会への参加を進め、スポーツによる体力の維持、向上を図り、交流を通じてお互いに新たな出会いや発見をし理解を深めるきっかけとするため、年に1回、清水区にてパン食い競走や魚釣りゲームなどを行うスポーツイベントを開催します。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き むくひょうち 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
かいさいかいすう 開催回数	かい 1回	かい 1回	かい 1回	かい 1回
さんか しゃすう 参加者数 (市が独自に設定)	にん 1,009人	にん 1,000人	にん 1,000人	にん 1,000人

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>前計画期間では、計画どおり大会を実施し、障がいのある人やその家族等の親睦・交流を促しました。</li> <li>会場のおおきさからすると、現在の参加者数が安全に開催することができる限界と考えられるため、今後は参加者数を増やしていくのではなく、1,000人程度を維持していくことが必要です。</li> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を意識した運営が必要となります。</li> </ul>
---

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を意識した運営を行います。</li> </ul>
--

かんれん せいしひょう 関連する成果指標 ・ とく かんれん きほん むくひょう 特に関連する基本目標

- 基本目標
  - (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
- SDGs かんれん ゴール 3. すべての人に健康と福祉を

事業名称	担当課
精神障害者スポーツ交流強化事業	精神保健福祉課

事業概要	スポーツを通じて障がいのある人やその家族等の親睦・交流を促進することにより、障がいのある人の社会参加を支援します。
------	---

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	5回	5回	5回	5回
参加者数 (市が独自に設定)	503人	500人	500人	500人

【現状の分析及び課題】

- 前計画期間では、ボウリング大会、ソフトボール・フットサルの定期練習会、多項目交流会を実施し、スポーツを通じた社会参加、交流の促進を図ることができました。
- 新型コロナウイルス対策を意識した運営が必要です。

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 交流人数のさらなる増加を図るため、バレーの練習会等、新たな競技の開催に取り組めます。
- 新型コロナウイルス対策を意識した運営を行います。



<p>関連する成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標</li> <li>・ SDGs 関連ゴール</li> </ul>	<p>特に関連する基本目標</p> <p>(2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること</p> <p>3. すべての人に健康と福祉を</p>
--	---

じぎょうめいしょう 事業名称	たんとうか 担当課
にっちゅう いちじ しえん じぎょう 日中一時支援事業	しょうがいしゃ しえん まいしん か 障害者支援推進課

じぎょうがいよう 事業概要	そうさく てき かつどう とう まかい ていきよう 創作的活動等の機会の提供をしたり、かいご 介護をしている家族の一時の休息のため にっちゅう いちじでき みまも しえん 日中の一時的な見守りなどの支援に要する費用の一部を助成します。
------------------	---

かつどうしひょう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
りようしやすう 利用者数	120人	110人	110人	110人

げんじょう ぶんせき およ かがい  
【現状の分析及び課題】

- 新型コロナウイルスの影響により、利用者が在宅にいることが増え、利用者が減少することが予想されます。
- ウィズコロナでの生活スタイルに変わっていく中で、利用開始時間の見直しにより利用のしやすさを改善し、利用の現状維持をしていく必要があります。

もくひょう たっせい けいかく じっし ぎかんちゅう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 日中一時支援の利用開始時間について、本体事業終了後17時以降から本体事業終了後に変更することで、利用者や事業者が制度を利用しやすくします。
- 引き続き、日中一時支援事業の適正な利用方法について、窓口を通して周知していきます。

かんれん せいかしひょう  
関連する成果指標

• 基本目標

• SDGs 関連ゴール

とく かんれん きほんもくひょう  
特に関連する基本目標

(3) 多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること

3. すべての人に健康と福祉を

じぎょうめいしやう 事業名称	たんとうか 担当課
ちいき かつどう しえん 地域活動支援センター	しょうがい ふくし まかく か 障害福祉企画課 せいしん ほけん ふくし か 精神保健福祉課

じぎょうがいう 事業概要	しょうがいのある人に日中活動の場を提供し、創作活動や交流活動、生産活動を通じて、社会との交流を促進する等の支援を行います。
-----------------	---

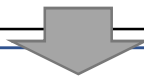
かつどうしひやう 活動指標	だい き 第5期	だい き 第6期 目標値		
	れいわ がんねんど じっせき 令和元年度実績	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
じっし かしやうすう 実施箇所数	5 箇所	5 箇所	5 箇所	5 箇所
じつりやうしゃすう 実利用者数	436 人	437 人	437 人	437 人

げんじやう ぶんせき およ かいだい  
【現状の分析及び課題】

- ・2施設とも定員数は9割を超えており、障がいのある人の日中活動の場として、社会生活を支援するための創作活動や地域交流等を行っていますが、中には出席率が低い利用者もいます。(障害福祉企画課)
- ・就労継続支援事業所の増加等により、地域活動支援センターの利用者数が減少傾向にあります。社会資源につながるのには良い傾向ですが、8050問題や精神障がいに起因するひきこもりの支援など、新たなニーズに対応していく必要があります。(精神保健福祉課)

もくひやう たっせい けいかく じっし きかんちゆう とりくみ  
【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- ・出席率が低い利用者について事業所と連絡を取りつつ見守っていきます。(障害福祉企画課)
- ・新規利用者の増に向け、関係機関との連携強化やプログラムの見直し・改善に努めます。(精神保健福祉課)



かんれん せいしひやう 関連する成果指標	とく かんれん せいしひやう 特に関連する基本目標
・ 成果指標	2-(1)退院後1年以内の地域における平均生活日数
・ 基本目標	(3)多様なニーズに対応したサービスで地域生活を支援すること
・ SDGs 関連ゴール	3. すべての人に健康と福祉を



事業名称	担当課
点字・声の広報等の発行	障害福祉企画課等

事業概要	文字による情報入手が困難な障がいのある人のために、点訳・音訳の方法により、市の各種広報紙を発行し、障がいのある人が地域で生活する上で必要な情報を提供します。
------	--

活動指標	第5期	第6期 目標値		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発行種類 (市が独自に設定)	8種類	9種類	10種類	11種類
累計発行回数 (市が独自に設定)	47回	48回	49回	50回

【現状の分析及び課題】

- 令和元年度は、①障がい者（児）福祉のしおり（点字版・音声版）、②広報しずおか「静岡気分」（点字全文版・点字縮訳版・音声版）12か月、③議会だより（点字版・音声版）年4回、④ごみの出し方分別ガイドブック（音声版）（平成30年度～保存版、不足分を複製するかたち）を発行しました。
- 発行種類の拡大のために全庁的に周知を行っていますが、発行種類は昨年度と同様に留まっています。
- 現在の利用者以外のニーズについて、検討する必要があります。（議会だより・調査法制課）
- 発行種類や発行部数の増加のため、周知等を行っていく必要があります。（ごみの出し方分別ガイドブック・収集業務課）
- 利用者の数が徐々に減少傾向にあるため、さらなる周知が必要と考えられます。（広報しずおか「静岡気分」・広報課）
- 現在は希望者に漏れなく提供できていますが、全体として発行種類が増加しないことが課題です。（障がい者（児）福祉のしおり・障害福祉企画課）

【目標達成のための計画実施期間中における取組】

- 議会だよりを音声読み上げ機能がある電子ブックの形態でホームページに掲載することで、より多くの人が議会だよりの音訳を聞くことができる環境を整えます。（調査法制課）
- 音声版ガイドブックの内容がわかりやすくなるよう紙媒体同様に3種類に分けて発行できないか検討します。また、関係課と協議し窓口配布依頼をする等、配布数が増えるよう工夫します。（収集業務課）
- 利用者拡大のための記事を広報しずおかへ掲載します。（広報課）
- 点字版・音声版広報等の発行種類拡大に向け、庁内各課に必要性を周知します。（障害福祉企画課）

関連する成果指標 ・ 特に関連する基本目標

- 基本目標 (2) 社会生活のあらゆる場面における利用のしやすさ（アクセシビリティ）を向上させ、社会参加を支援すること
- SDGs 関連ゴール 10. 人や国の不平等をなくそう
- SDGs 関連ターゲット 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。